

BIGLOBE クラウドストレージ

フォルダ同期ツール リファレンスマニュアル



2025/7/16

変更履歴

版	発行年月日	改版内容	作成者
1.0	2014/02/12	初版	NEC ビッグローブ
1.1	2014/04/01	社名を変更	ビッグローブ
1.2	2014/05/15	1.1 注意書きを追加	ビッグローブ
1.3	2016/02/17	サポートページの URL を変更	ビッグローブ
1.4	2019/05/09	各 Web サイトリンク先を修正	ビッグローブ
1.5	2019/09/03	FAQ リンク先を修正	ビッグローブ
1.6	2025/07/16	サービスロゴ画像を変更	ビッグローブ

目 次

目 次	3
はじめに	5
1 フォルダ同期の設定	7
1.1 新たにフォルダ同期をするための設定をしたい	7
1.2 分割アップロードしたい	23
1.3 アップロードする際にファイルにパスワードを設定したい	25
1.4 指定時間に自動で同期させたい	27
1.5 ログを出力したい	34
1.6 作成済みのフォルダ同期設定を変更したい	36
1.7 作成済みのフォルダ同期設定を削除したい	38
2 全体	40
2.1 回線切断時に自動で再接続させたい	40
2.2 回線切断時のタイムアウト時間を設定したい	42
2.3 フォルダ同期ツールの起動時に自動で同期したい	44
2.4 フォルダ同期ツールの終了時に自動で同期させたい	46
2.5 フォルダ同期中に表示される進捗ダイアログを非表示にしたい	48
3 フォルダ同期の実行	50
3.1 設定済みのフォルダ同期設定をすべて実行したい	50
3.2 フォルダ同期対象のファイル一覧をすべて確認したい	52
3.3 特定のフォルダ同期設定のみ実行したい	54
3.4 特定のフォルダ同期設定の同期対象ファイル一覧を確認したい	56
3.5 すべてのフォルダ同期情報をリセットしたい	58
3.6 クラウドストレージ上のファイルでパソコン上のフォルダをすべて上書きしたい	59

3.7	パソコン上のファイルでクラウドストレージをすべて上書きしたい	61
4	その他	63
4.1	表示言語（英語・日本語）を変更したい	63
4.2	ヘルプを表示させたい	64
4.3	バージョン情報を確認したい	65

はじめに

本マニュアルは、BIGLOBE クラウドストレージにおいて「フォルダ同期ツール」を提供するにあたり、フォルダ同期ツールの操作方法について、実施したい項目別に記載するものです。

フォルダ同期ツールとは：

フォルダ同期ツールを使用することにより、クラウドストレージ上の特定のフォルダとパソコン上の特定のフォルダを比較し、両者が最新の状態となるように同期することや、パソコン上のファイルが更新された場合はクラウドストレージ上のファイルを更新したり、クラウドストレージ上のファイルが更新された場合はパソコン上のファイルを更新したりすることも可能になります。

・用語定義

「同期」：クラウドストレージ上の特定フォルダとパソコン上の特定フォルダを比較し、それぞれのフォルダ内のファイルが同一になるように、動作することをいいます。

「アップロード」：クラウドストレージ上の特定フォルダとパソコン上の特定フォルダを比較し、パソコン上でファイルが追加、更新、または削除された場合に、クラウドストレージ上のフォルダに反映（上書き）することをいいます。クラウドストレージ上でファイルが追加、更新、または削除されても、パソコン上のフォルダには反映（上書き）されません。

「ダウンロード」：クラウドストレージ上の特定フォルダとパソコン上の特定フォルダを比較し、クラウドストレージ上でファイルが追加、更新、または削除された場合に、パソコン上のフォルダに反映（上書き）することをいいます。パソコン上でファイルが追加、更新、または削除されても、クラウドストレージ上のフォルダには反映（上書き）されません。



・注意事項

- ・設定された内容に従い同期動作が実行され、クラウドストレージ上/パソコン上のファイルが更新（上書き）、ま

たは削除された場合、更新（上書き）・削除される前の状態に戻すことはできませんので、同期設定を行う際は事前に想定した動きをするかどうかをご確認の上ご利用ください。

- ・また、クラウドストレージのグループフォルダなど、複数の利用者が参照・更新をする可能性のあるフォルダへ同期処理を行う場合は、事前に利用者へ同期内容について周知していただく等により、利用者の意図しない更新や削除が行われないうご注意ください。

・動作環境

最新の情報は Web サイトをご確認ください。

<https://biz.biglobe.ne.jp/storage/service.html>

・ログイン ID

ログイン ID について、コースおよび設定毎に以下のようになります。

コース	プライマリグループ機能の使用	ログイン ID
クラウドストレージ/クラウドストレージプラス	－	ユーザ ID@法人 ID
クラウドストレージ ST/HA	なし	ユーザ ID
	あり	ユーザ ID@プライマリグループ ID

・サポート情報

<https://bcst.sso.biglobe.ne.jp/bcst/>

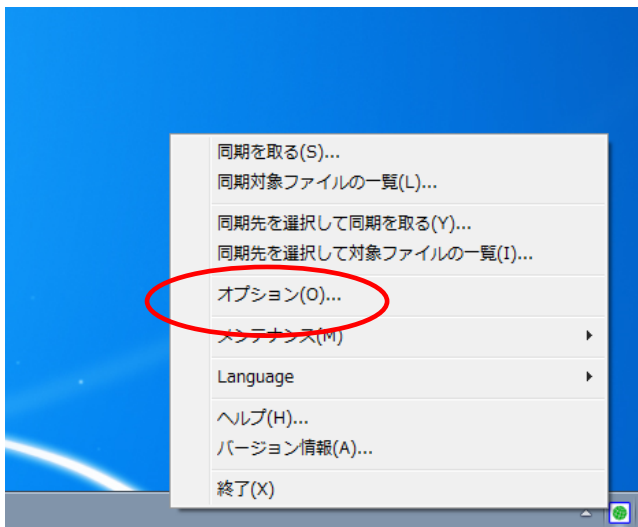
メンテナンスのお知らせなどの運用情報、サービス仕様書等、ご契約者様向けの情報を掲載していますので、適宜ご覧いただきますようお願いいたします。

1 フォルダ同期の設定

1.1 新たにフォルダ同期をするための設定をしたい

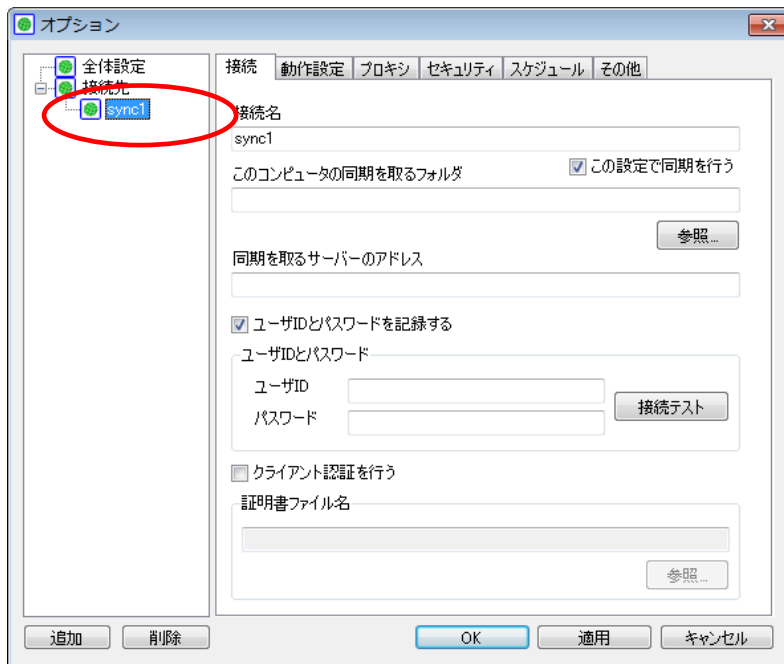
フォルダの同期をするには、まず同期の設定を行います。

- ・ 「フォルダ同期ツール」 を起動して、ディスプレイの右下（タスクトレイ） に表示されるロゴの上で右クリックし、メニューから「オプション」 を選択します。



- ・ 新しい同期接続先を追加するために、接続先の「sync1」 を選択すると、画面右側が接続設定画面に変わります。

※表示されない場合は、左下の「追加」 ボタンをクリックしてください。



- ・「接続」タブの以下の項目を入力します。

項目	説明
接続名	接続の名称（任意）
この設定で同期を行う(チェックボックス)	チェックを入れるとフォルダ同期を実行した場合に同期の対象となります。チェックを外しておくと、同期の対象にはなりません。フォルダ同期を一時的に停止したい場合や設定が途中の場合にはチェックを外します。
このコンピュータの同期をとるフォルダ	クラウドストレージと同期をとりたいローカルパソコン上のフォルダまでのパス ※1
同期をとるサーバーのアドレス	https から始まるクラウドストレージのユーザフォルダまたはグループフォルダのアドレス ※1 ※2
ユーザ ID とパスワードを保存する(チェックボックス)	入力したユーザ ID とパスワードを保存しておきたい場合は、チェックを入れておきます。
ユーザ ID	アクセスするログイン ID (**@***) ※3
パスワード	上記ログイン ID のパスワード

証明書ファイル名	記入不要 ※4
----------	---------

※1 WindowsOS の制限により、パスの長さは最大 260 文字までとなります。(パスの長さは C:¥等から始まって途中のフォルダ名とファイル名を含めた全ての文字数を指します。) パスの長さが制限を超えている場合は、フォルダ同期ツール動作中に「ファイルの同期に失敗しました。指定されたパス、ファイル名、またはその両方が長すぎます。」というエラーが発生し同期されませんので、ご注意ください。

※2 ブラウザからアクセスする場合の URL とは異なりますので、以下のように指定してください。

クラウドストレージ(無料、有償)コース、クラウドストレージプラスコースの場合

https:// [ご利用サーバの URL] /ap/ [法人 ID] / [個人フォルダ名、またはグループフォルダ名]
 ([ご利用サーバの URL] は、ご契約ごとに異なります。)
 例) ブラウザでログイン画面にアクセスする場合の URL が https://www.sample.jp/bmst/
 法人 ID が [bmstaa01]、個人フォルダが [taro] の場合
 https://www.sample.jp/ap/bmstaa01/taro

クラウドストレージ ST/HA でプライマリグループを使用しない場合

https:// [ご利用サーバの URL] /ap/ [個人フォルダ名、またはグループフォルダ名]
 例) 個人フォルダが [taro] の場合
 https://www.sample.jp/ap/taro

クラウドストレージ ST/HA でプライマリグループを使用する場合

https:// [ご利用サーバの URL] /ap/ [プライマリグループ名] / [個人フォルダ名、またはグループフォルダ名]
 例) プライマリグループ名が [pri01]、個人フォルダが [taro] の場合
 https://www.sample.jp/ap/pri01/taro

※3 「ユーザ ID@法人 ID」がログイン ID となります。

クラウドストレージ ST/HA でプライマリグループを使用しない場合は、「ユーザ ID」がログイン ID となります。

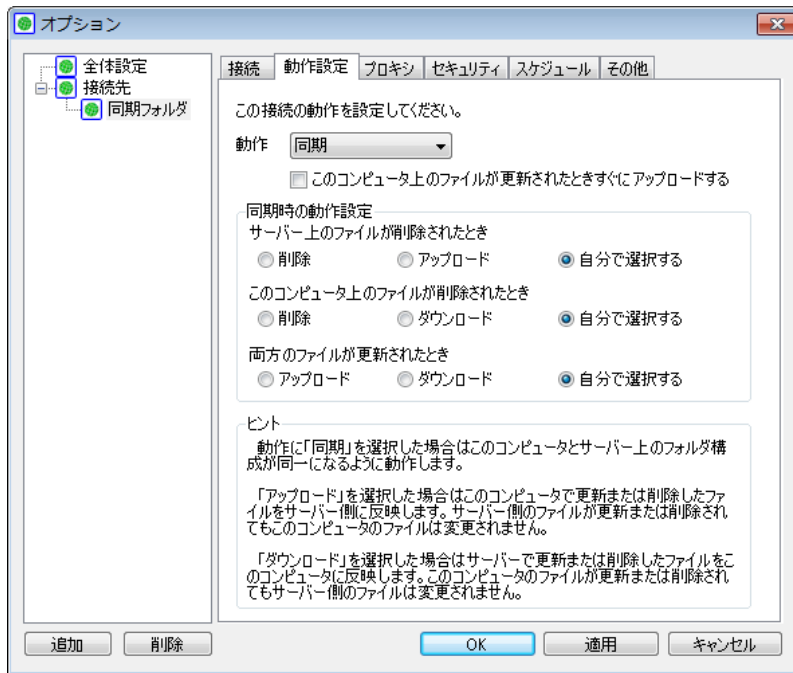
※4 「証明書ファイル名」の項目は、クライアント認証機能を使用する場合に記入します。

クライアント認証機能を利用できるのは、クラウドストレージ ST/HA コースをご契約の場合となります。

特に指定のない場合、この項目の入力は不要です。

「クライアント認証を行う」のチェックボックスのチェックも不要です。

- ・「動作設定」タブの以下の項目を設定します。



項目	説明
動作	このフォルダ同期設定を実行した際に、どのように動作させたいかによって「同期」「アップロード」「ダウンロード」のいずれかを選択します。※1
このコンピュータ上のファイルが更新されたときすぐにアップロードする(チェックボックス)	「同期」、もしくは「アップロード」を選択した場合のみ設定できます。パソコン上のファイルが更新されたらすぐにクラウドストレージにも反映させたい場合にはチェックします。
同期時の動作設定 (「動作」で「同期」を選択した場合のみ設定可)	動作で「同期」を選択し、このフォルダ同期設定を実行した際に、クラウドストレージ上、もしくはパソコン上からファイルが削除されたときの動作、および同名のファイルが両方で更新された場合の動作を選択します。※2

※1 各動作では、以下のように処理されます。

「同期」:「接続」タブで指定したクラウドストレージ上のフォルダとパソコン上のフォルダを比較し、それぞれのフォルダ内のファイルが同一になるように、動作します。例えば、クラウドストレージ上でファイルを追加・更新した場合には、パソコン上にそのファイルをダウンロード(すでに同名のファイルが存在する場合には上書き)します。反対に、パソコン上でファイルを追加・更新した場合には、クラウドストレージ上にそのファイルをアップロード(すでに同名のファイルが存在する場合には上書き)します。クラウドストレージとパソコン上の両方でファイルが更新された場合とどちらかでファイルが削除された場合は、「同期時の動作設定」で指定した動作を行います。

「アップロード」:「接続」タブで指定したクラウドストレージ上のフォルダとパソコン上のフォルダを比較し、パソコン上でファイルが追加、更新、または削除された場合に、クラウドストレージ上のフォルダにも同じ内容を反映(上書き)します。クラウドストレージ上でファイルが追加、更新、または削除されても、パソコン上のフォルダには反映(上書き)されません。

「ダウンロード」:「接続」タブで指定したクラウドストレージ上のフォルダとパソコン上のフォルダを比較し、クラウドストレージ上でファイルが追加、更新、または削除された場合に、パソコン上のフォルダにも同じ内容を反映(上書き)することをいいます。パソコン上でファイルが追加、更新、または削除されても、クラウドストレージ上のフォルダには反映(上書き)されません。

※2 各動作では、以下のように処理されます。

サーバー上のファイルが削除されたとき:クラウドストレージ上のファイルが削除された場合の動作を指定します。

「削除」:クラウドストレージ上で削除された同名のファイルをパソコン上からも削除します。

「アップロード」:パソコン上に保存されている同名のファイルをクラウドストレージ上にアップロードします。

「自分で選択する」:このフォルダ同期設定を実行した際に、クラウドストレージ上で削除されたファイルが発見された場合、その都度利用者に対して「削除」するか「アップロード」するかを確認します。

このコンピュータ上のファイルが削除されたとき：パソコン上のファイルが削除された場合の動作を指定します。

「削除」：パソコン上で削除された同名のファイルをクラウドストレージ上からも削除します。

「ダウンロード」：クラウドストレージ上に保存されている同名のファイルをパソコン上にダウンロードします。

「自分で選択する」：このフォルダ同期設定を実行した際に、パソコン上で削除されたファイルが発見された場合、その都度利用者に対して「削除」するか「ダウンロード」するかを確認します。

両方のファイルが更新されたとき：同じ名称のファイルがクラウドストレージ上/パソコン上の両方で更新された場合の動作を指定します。

「アップロード」：パソコン上に保存されている同名のファイルをクラウドストレージ上にアップロード（上書き）します。

「ダウンロード」：クラウドストレージ上に保存されている同名のファイルをパソコン上にダウンロード（上書き）します。

「自分で選択する」：このフォルダ同期設定を実行した際に、クラウドストレージ上/パソコン上の両方で更新された同じ名称のファイルが発見された場合、その都度利用者に対して「アップロード」するか「ダウンロード」するかを確認します。



注意事項

- ・ 設定された内容に従い同期動作が実行されクラウドストレージ上/パソコン上のファイルが更新（上書き）、または削除された場合、更新（上書き）・削除される前の状態に戻すことはできませんので、同期設定を行う際は事前に想定した動きをするかどうかをご確認の上ご利用ください。
- ・ また、クラウドストレージのグループフォルダなど、複数の利用者が参照・更新をする可能性のあるフォルダへ同期処理を行う場合は、事前に利用者へ同期内容について周知していただく等により、利用者の意図しない更新や削除が行われないようご注意ください。

- ・プロキシを使用している場合は「プロキシ」タブを設定します。

注) 「プロキシ」タブの設定は必ずしも行う必要はありません。

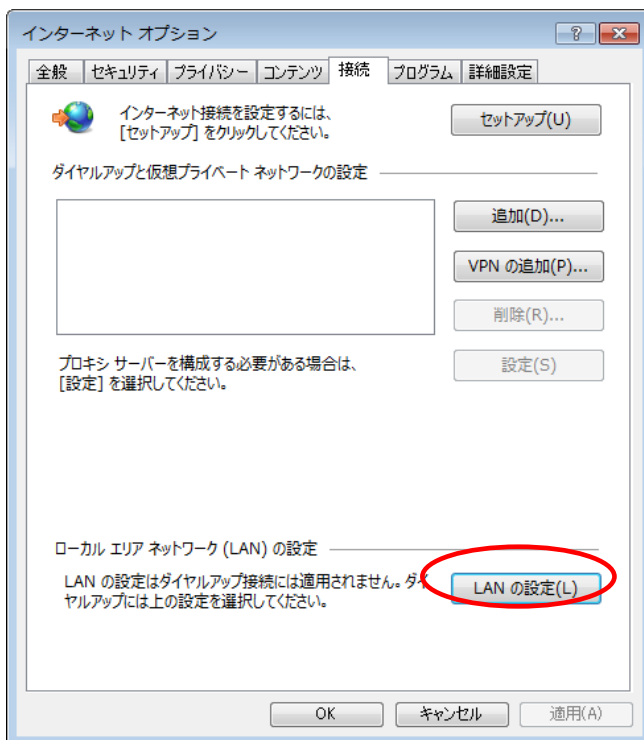
設定する必要があるかどうか、どのような値を設定するかは、お客様社内の情報システム部やネットワーク管理者にご確認ください。

- ・プロキシサーバーの確認

ここでは、例として Internet Explorer® 11.0 のプロキシサーバーの確認方法を解説します。

Internet Explorer を立ち上げ、メニューバーの「ツール」→「インターネットオプション」をクリックして、

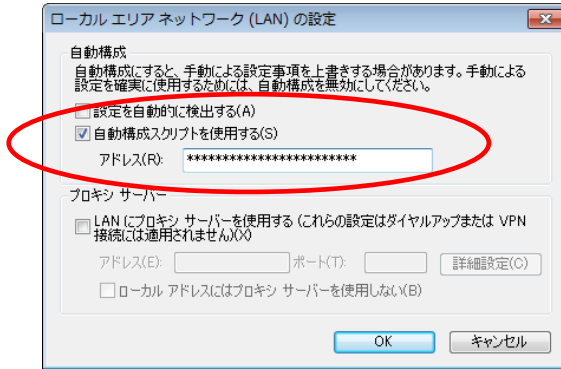
「インターネット オプション」の「接続」タブを開いて「LAN の設定」ボタンを押します。



・ローカル エリア ネットワーク (LAN) の設定

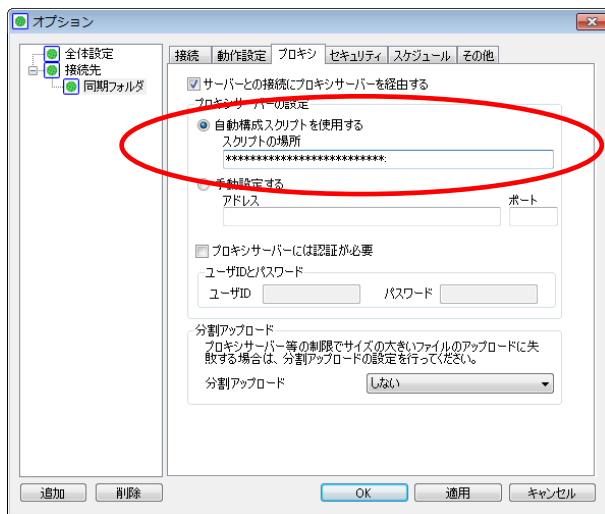
* 「自動構成」の「自動構成スクリプトを使用する」にチェックがあり、アドレス欄に入力されている

アドレスがある場合

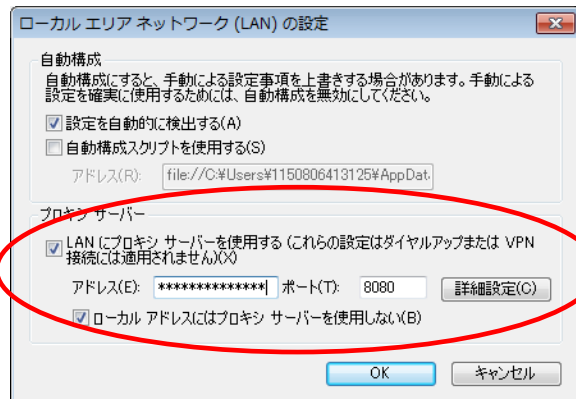


⇒ 「プロキシ」タブの「サーバーとの接続にプロキシサーバーを経由する」をチェックし、

「自動構成スクリプトを使用する」の「スクリプトの場所」に Internet Explorer と同じアドレスを入力

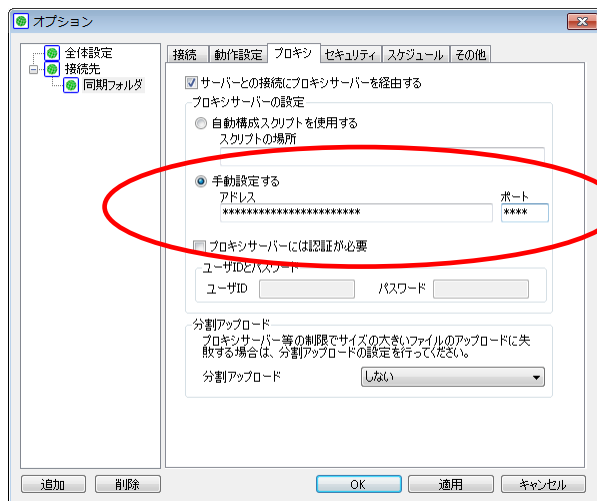


* 「プロキシ サーバー」の「LAN にプロキシ サーバーを使用する（これらの設定はダイヤルアップまたは VPN 接続には適用されません）」にチェックがあり、アドレス欄、ポート欄に記載がある場合



⇒ 「プロキシ」タブの「サーバーとの接続にプロキシサーバーを経由する」をチェックし、

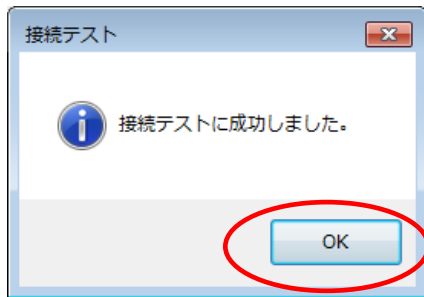
「手動設定する」のアドレス欄とポート欄に Internet Explorer と同じアドレスとポートを入力



補足)

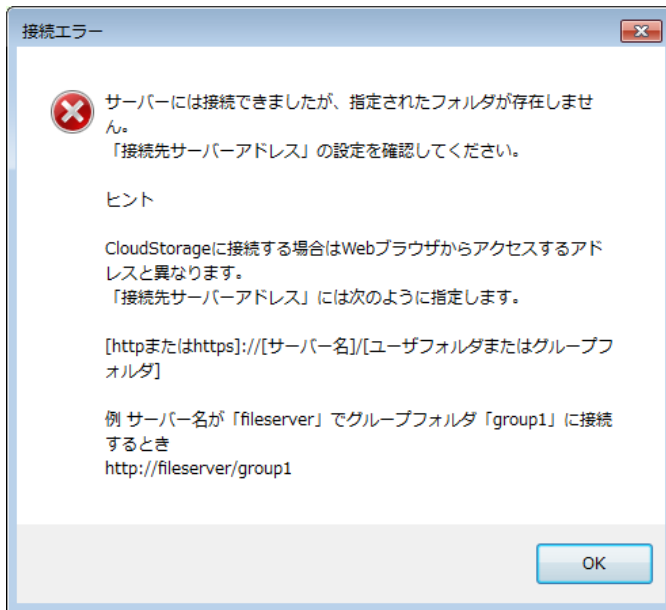
- ・ プロキシサーバーに認証が必要な場合は、「プロキシサーバーには認証が必要」チェックボックスをチェックし、ユーザ ID とパスワードを入力します。
- ・ プロキシサーバー等の制限で、サイズの大きいファイルのアップロードに失敗する場合は、分割アップロードを設定します。特に問題がない場合は、変更する必要はありません（規定値：「しない」）。
- ・ お客様のネットワーク環境については、お客様社内の情報システム部やネットワーク管理者にご確認ください。

- ・「接続」タブ、「動作設定」タブ、「プロキシ」タブの必要項目を入力後、「接続」タブの「接続テスト」ボタンを押します。接続テストに成功したら「OK」ボタンを押して、接続先の設定を終了します。



※接続テストに失敗した場合の考えられる原因と対処法

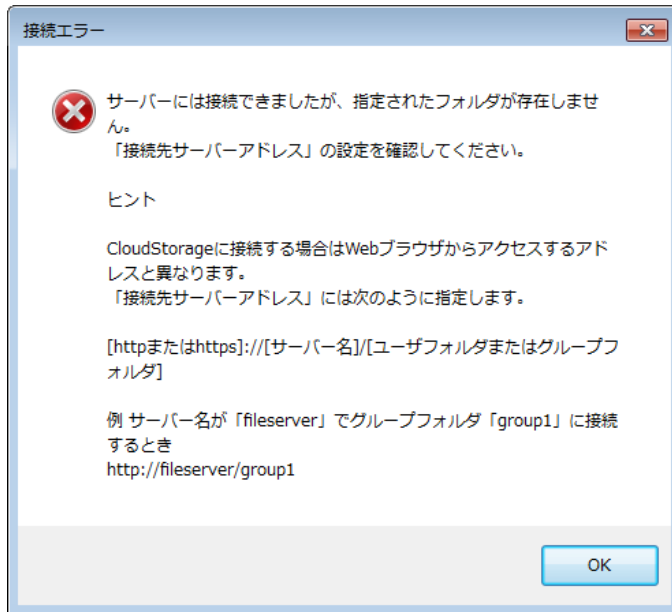
・接続エラー パターン①



考えられる原因：接続先サーバーアドレスが間違っているため、対象のフォルダに接続できていない可能性があります。

対処方法：「サーバーのアドレス」の「https:// [ご利用サーバの URL] /ap/ (接続エラー表示内の[サーバ名]にあたります)」の部分に誤りがないか、再度ご確認ください。

・接続エラー パターン②



考えられる原因：クラウドストレージのサーバーには接続できていますが、「法人 ID(プライマリ G)」や

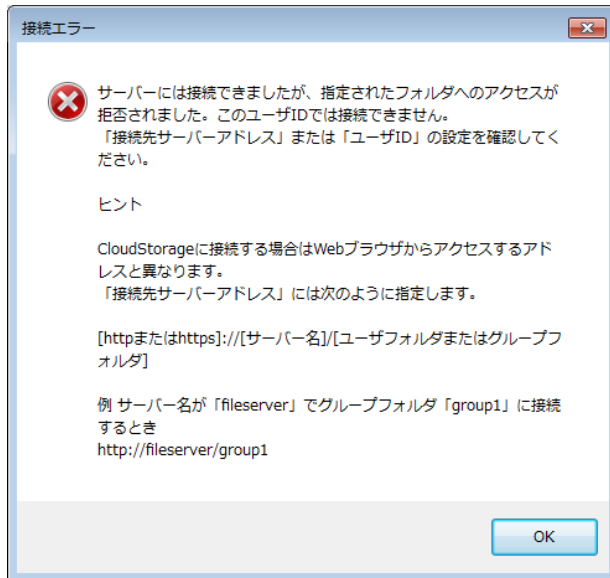
「個人フォルダ名、またはグループフォルダ名」が間違っているためアクセスできていない

可能性があります。

対処方法：「サーバーのアドレス」の「https:// [ご利用サーバの URL] /ap/~」の「/ap/より後ろ」の部分に

誤りがないか、再度ご確認ください。

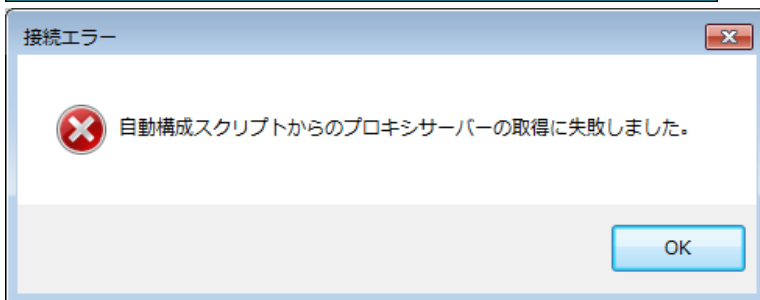
・接続エラー パターン③



考えられる原因：クラウドストレージのサーバーには接続できていますが、「ユーザID」に指定したログインID
ではアクセス権のないフォルダを指定している可能性があります。

対処方法：アクセス権のないグループフォルダ名やユーザフォルダ名を指定していないか、再度ご確認ください。

・接続エラー パターン④



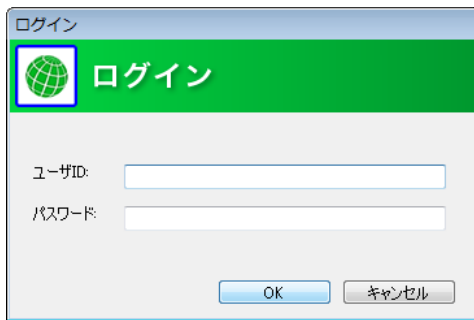
考えられる原因：クラウドストレージのサーバーへ接続できていません。「プロキシ」タブに設定している

「スクリプトの場所」や「アドレス」の値に誤りがある可能性があります。

対処方法：「プロキシ」タブに設定する「スクリプトの場所」や「アドレス」の値については、お客様社内のネットワ

ーク環境により異なりますので、お客様社内の情報システム部やネットワーク管理者にご確認ください。

・「ログイン画面」が表示される



ログイン

ログイン

ユーザID:

パスワード:

OK キャンセル

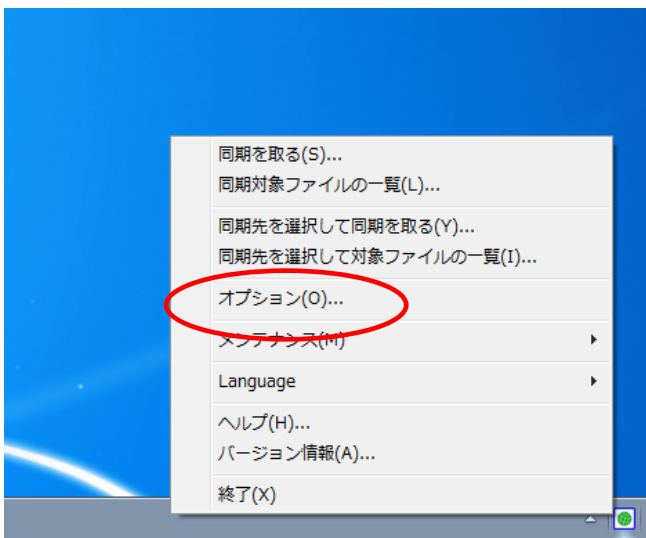
考えられる原因 : ログイン ID、もしくはパスワードに誤りがある可能性があります。

対処方法 : ログイン ID、パスワードを正しく指定しているか、再度ご確認ください。

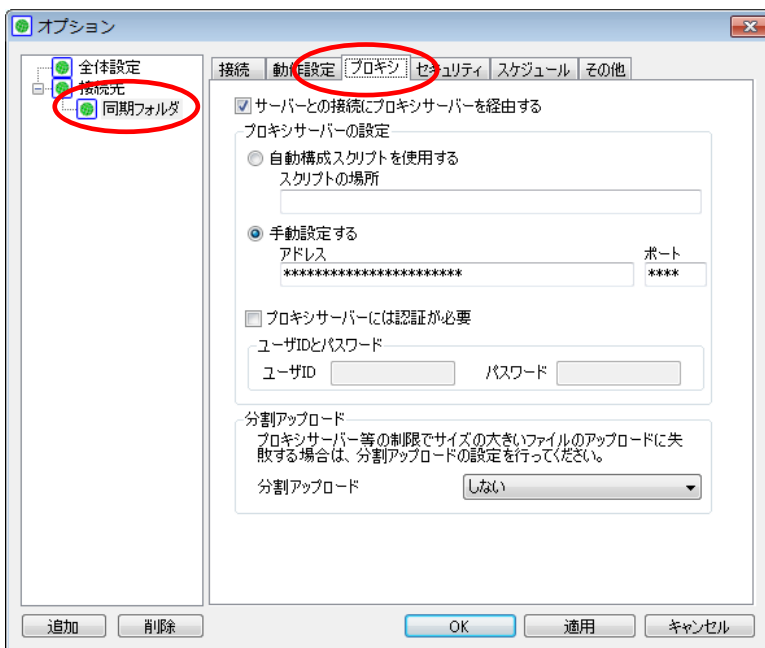
1.2 分割アップロードしたい

ご利用のプロキシサーバー等の制限で、サイズの大きいファイルのアップロードに失敗するといった場合には分割アップロードの設定をすることができます。

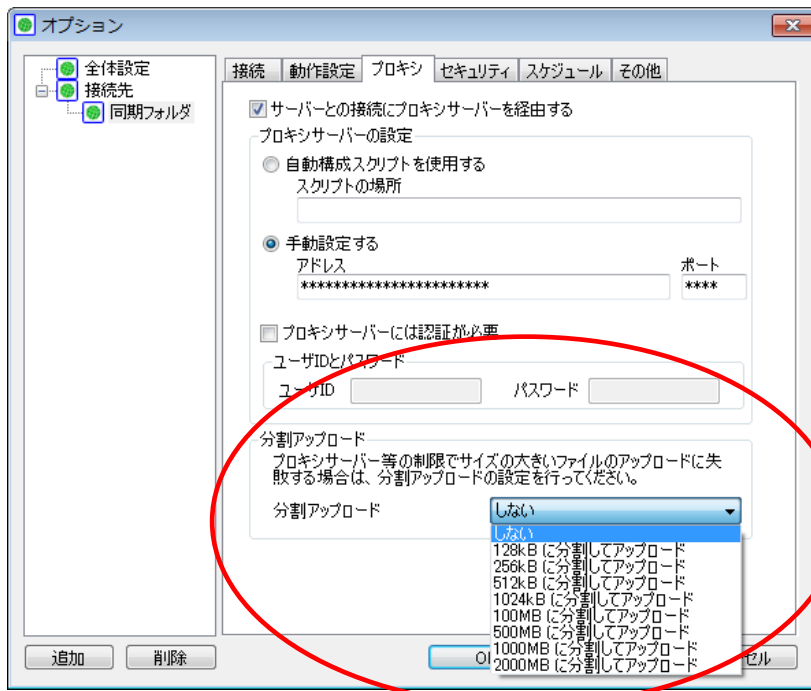
- ・ 「フォルダ同期ツール」を起動して、ディスプレイの右下（タスクトレイ）に表示されるロゴの上で右クリックし、メニューから「オプション」を選択します。



- ・ 分割アップロードの設定をしたい接続先を選択し、「プロキシ」タブをクリックします。



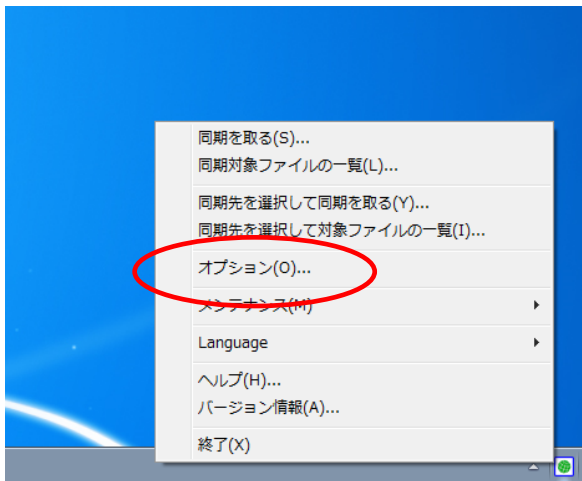
- ・ 「分割アップロード」の選択肢の中から分割容量を選択し、「OK」もしくは「適用」をクリックしてください。



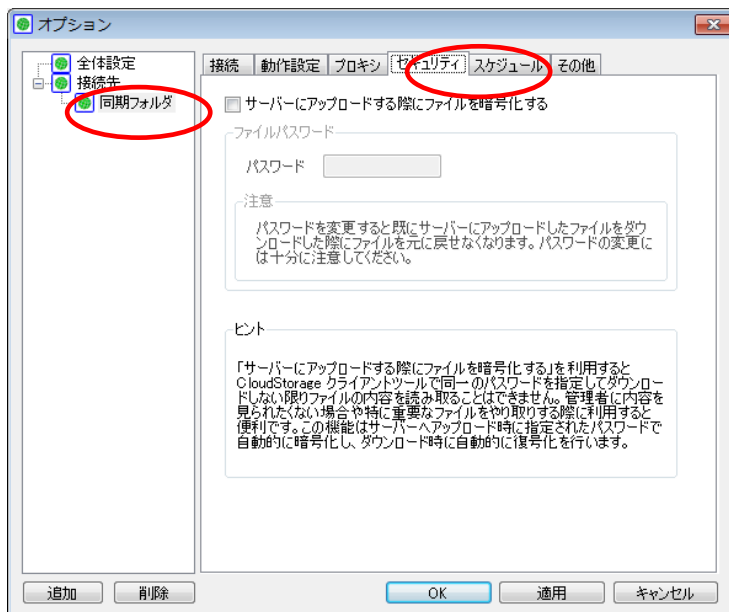
1.3 アップロードする際にファイルにパスワードを設定したい

フォルダ同期ツールを使ってパソコンからクラウドストレージにファイルをアップロードする際にパスワードを設定することができます。この機能を利用すると、「フォルダ同期ツール」と同時にインストールされる「クライアントツール」で同じパスワードを指定してダウンロードしない限り、ファイルの内容を読み取ることができなくなります。

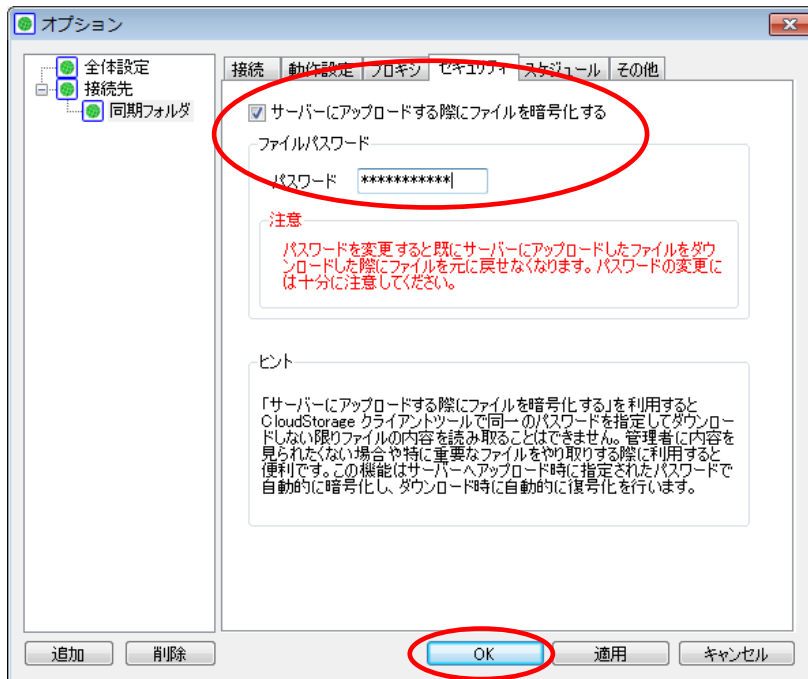
- ・ 「フォルダ同期ツール」を起動して、ディスプレイの右下（タスクトレイ）に表示されるロゴの上で右クリックし、メニューから「オプション」を選択します。



- ・ アップロードする際にパスワードを設定したい接続先を選択し、「セキュリティ」タブをクリックします。



- ・ 「サーバーにアップロードする際にファイルを暗号化する」にチェックを入れ、パスワードを指定して、「OK」もしくは「適用」をクリックします。

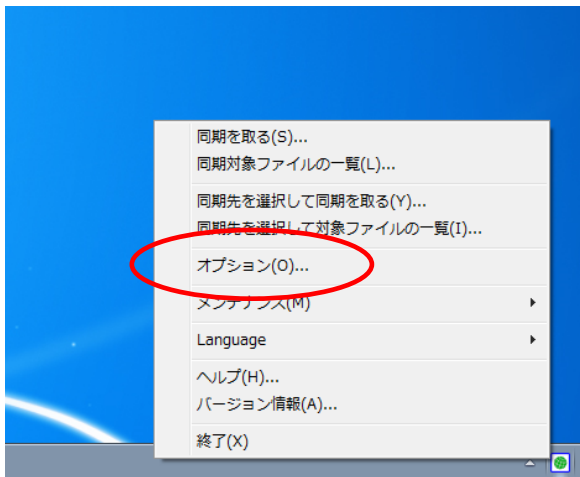


設定したパスワードを後から確認する方法はありません。パスワードは間違っても入力しないよう、充分にご注意ください。利用途中でパスワードを変更した場合、変更前のパスワードで既にクラウドストレージにアップロードされているファイルを開けなくなる場合がありますので、パスワードの変更には十分注意してください。

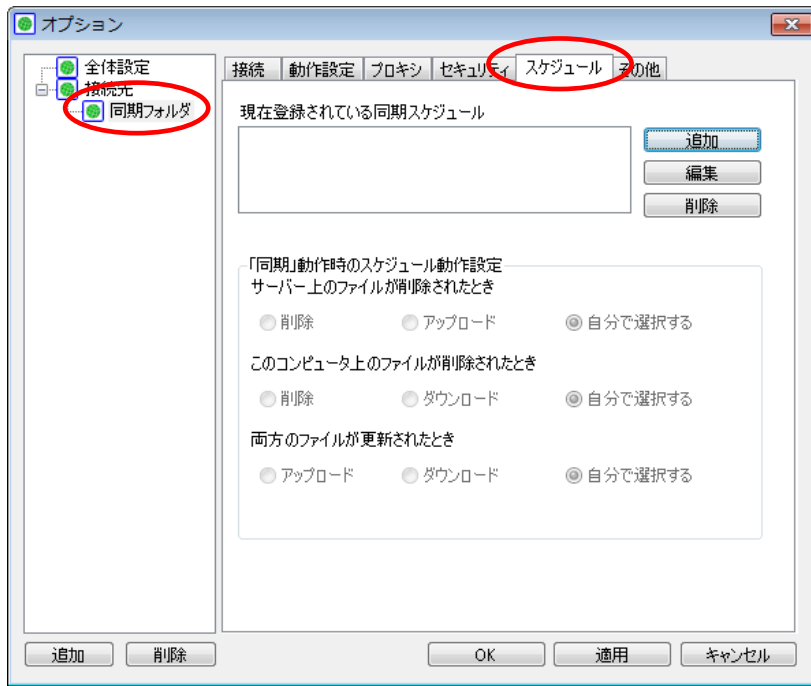
1.4 指定時間に自動で同期させたい

あらかじめスケジュールを設定しておくことで、自動的に指定した動作を取るよう同期スケジュールを設定することができます。

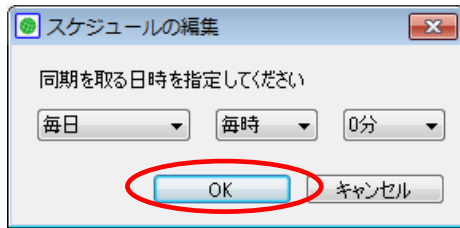
- ・ 「フォルダ同期ツール」 を起動して、ディスプレイの右下（タスクトレイ） に表示されるロゴの上で右クリックし、メニューから「オプション」 を選択します。



- ・ スケジュールを設定したい接続先を選択し、「スケジュール」 タブをクリックします。



- ・「追加」をクリックして「スケジュールの編集」画面で同期をとる日時を指定し、「OK」をクリックします。



* 指定できる単位は以下です。

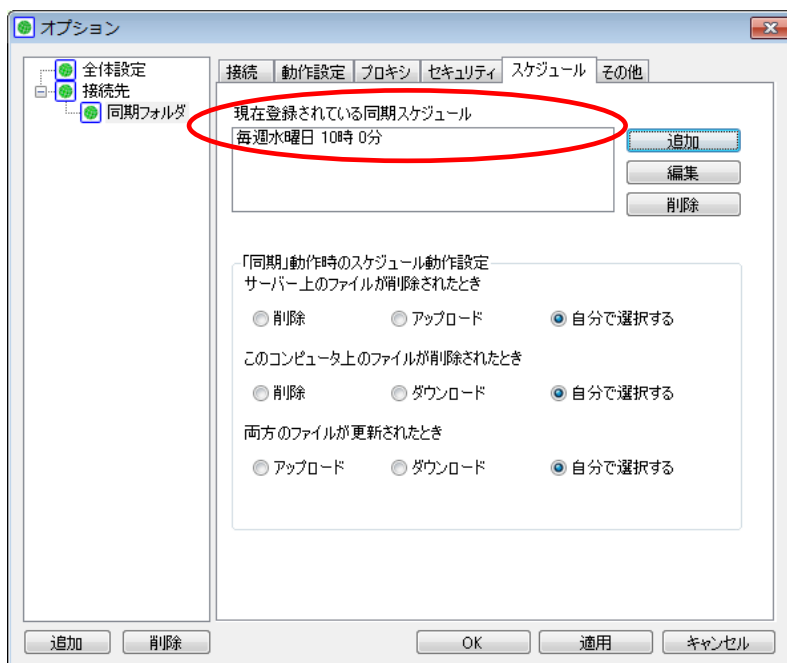
日単位：毎日、毎週日曜日、毎週月曜日、毎週火曜日、毎週水曜日、毎週木曜日、毎週金曜日、毎週土曜日

時単位：毎時、0時～23時

分単位：0分、5分、10分、15分、20分、25分、30分、35分、40分、45分、50分、55分

- ・「現在登録されている同期スケジュール」に設定したスケジュールが登録されているか確認してください。

スケジュール内容を変更したい場合は対象のスケジュールを選択して「編集」を、削除したい場合は「削除」をクリックしてください。



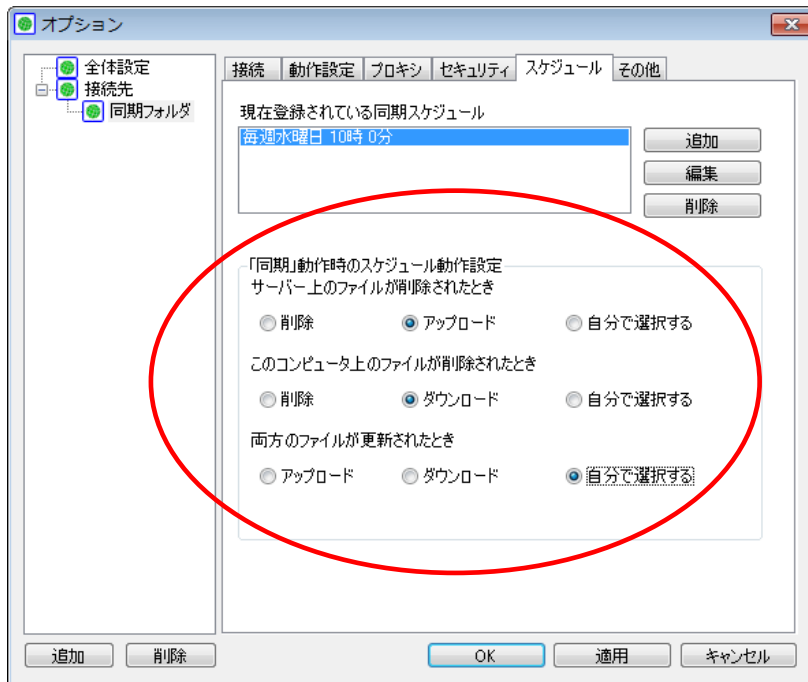
注意事項

- ・複数のスケジュール設定を行う場合、既に設定してあるスケジュールと重なる時間での設定はできません。
- ・複数のスケジュール設定をしていて 1 つ前のスケジュール動作が終了していない場合は、その動作が終了してから次のスケジュールの処理を行うため、指定した時間に動作が始まらない場合があります。
- ・スケジュールを設定した場合、指定した時刻になると自動的に設定した動作が始まりますので、グループフォルダなど、複数の利用者がいるフォルダを同期する場合はご注意ください。
- ・スケジュールが設定されていても、フォルダ同期ツールが起動されていない場合やパソコンの電源が切れている場合、自動的に動作は始まりません。
- ・クラウドストレージプラスコースや無料コース、旧クラウドストレージコースの場合は、毎日日本時間の深夜に 30 分程度の計画停止がありますので、ご注意ください。

【スケジュールを設定したフォルダ同期設定の「動作設定」タブの動作で「同期」を選択していた場合】

・手動で同期を実行する際とは別に、スケジュールが実行された場合の同期動作の設定をします。

「スケジュール」タブの「同期」動作時のスケジュール動作設定を指定し、「OK」もしくは「適用」をクリックします。



各動作では、以下のように処理されます。

サーバー上のファイルが削除されたとき：クラウドストレージ上のファイルが削除された場合の動作を指定します。

「削除」：クラウドストレージ上で削除された同名のファイルをパソコン上からも削除します。

「アップロード」：パソコン上に保存されている同名のファイルをクラウドストレージ上にアップロードします。

「自分で選択する」：このフォルダ同期設定を実行した際に、クラウドストレージ上で削除されたファイルが発見され



た場合、その都度利用者に対して「削除」するか「アップロード」するかを確認します。

「自分で選択する」を選択し、クラウドストレージ上で削除されたファイルが発見された場合、利用者が「削除」するか「アップロード」するかを選択するまで、同期は一時中断されますので、ご注意ください。

このコンピュータ上のファイルが削除されたとき：パソコン上のファイルが削除された場合の動作を指定します。

「削除」: パソコン上で削除された同名のファイルをクラウドストレージ上からも削除します。

「ダウンロード」: クラウドストレージ上に保存されている同名のファイルをパソコン上にダウンロードします。

「自分で選択する」: このフォルダ同期設定を実行した際に、パソコン上で削除されたファイルが発見された場合、その都度利用者に対して「削除」するか「ダウンロード」するかを確認します。



「自分で選択する」を選択し、パソコン上で削除されたファイルが発見された場合、利用者が「削除」するか「ダウンロード」するかを選択するまで、同期は一時中断されますので、ご注意ください。

両方のファイルが更新されたとき: 同じ名称のファイルがクラウドストレージ上/パソコン上の両方で更新された場合の動作を指定します。

「アップロード」: パソコン上に保存されている同名のファイルをクラウドストレージ上にアップロード（上書き）します。

「ダウンロード」: クラウドストレージ上に保存されている同名のファイルをパソコン上にダウンロード（上書き）します。

「自分で選択する」: このフォルダ同期設定を実行した際に、クラウドストレージ上/パソコン上の両方で更新された同名のファイルが発見された場合、その都度利用者に対して「アップロード」するか「ダウンロード」するかを確認します。



「自分で選択する」を選択し、クラウドストレージ上/パソコン上の両方で更新された同名のファイルが発見された場合、利用者が「アップロード」するか「ダウンロード」するかを選択するまで、同期は一時中断されますので、ご注意ください。



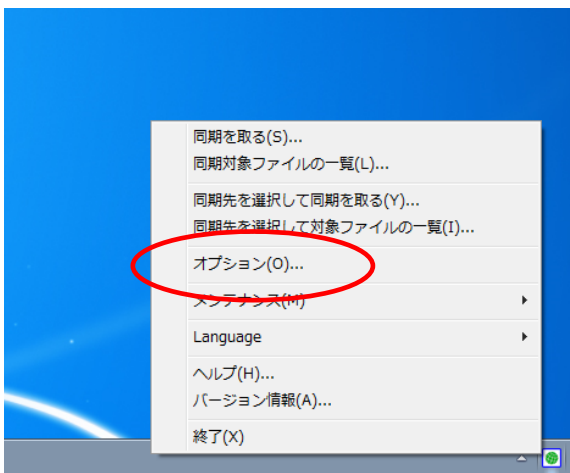
注意事項

- ・ 設定された内容に従い同期動作が実行されクラウドストレージ上/パソコン上のファイルが更新（上書き）、または削除された場合、更新（上書き）・削除される前の状態に戻すことはできませんので、同期設定を行う際は事前に想定した動きをするかどうかをご確認の上ご利用ください。
- ・ また、クラウドストレージのグループフォルダなど、複数の利用者が参照・更新をする可能性のあるフォルダへ同期処理を行う場合は、事前に利用者へ同期内容について周知していただく等により、利用者の意図しない更新や削除が行われないようご注意ください。

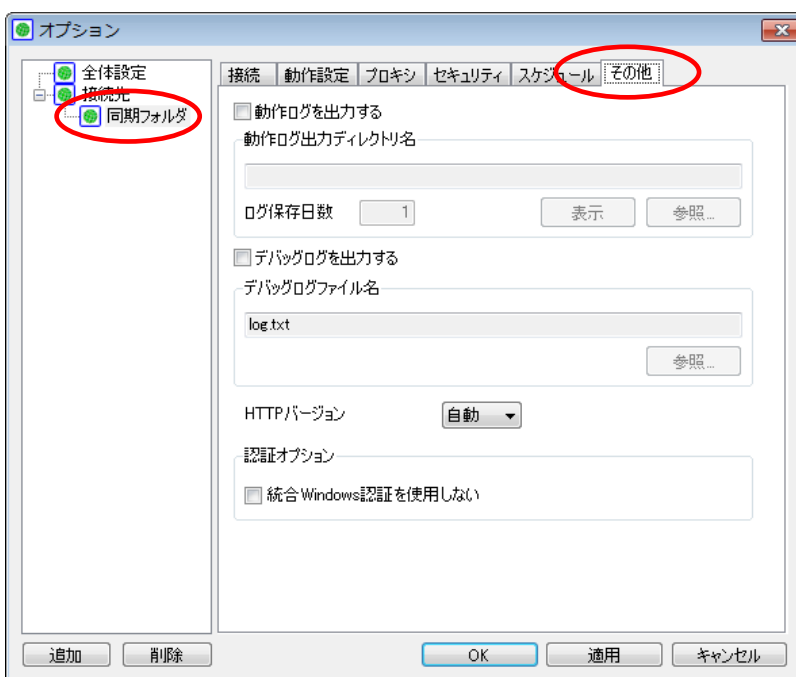
1.5 ログを出力したい

初期設定ではログの出力は OFF になっていますが、調査などのためにフォルダ同期ツールのログを出力させることができます。

- ・ 「フォルダ同期ツール」 を起動して、ディスプレイの右下（タスクトレイ） に表示されるロゴの上で右クリックし、メニューから「オプション」 を選択します。



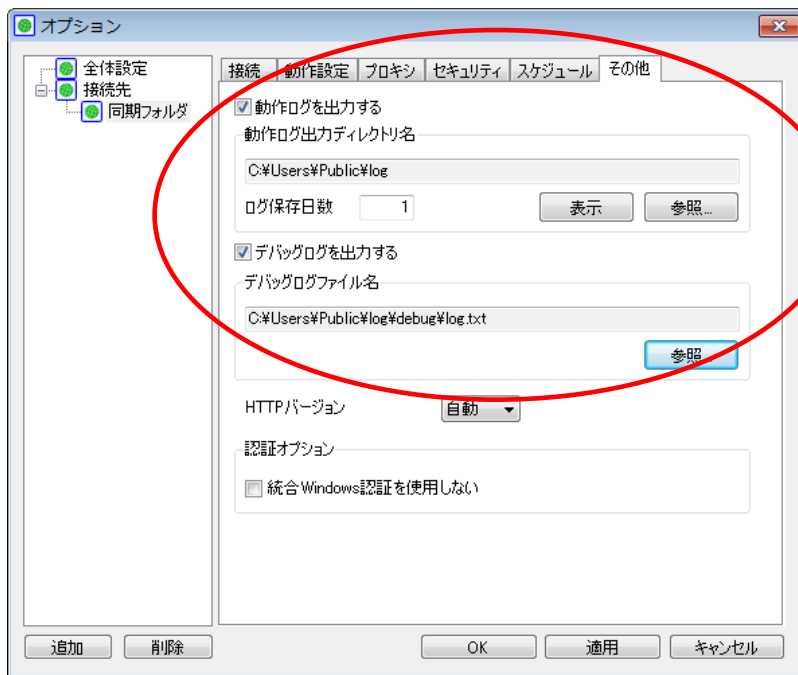
- ・ ログを出力したい接続先を選択し、「その他」 タブをクリックします。



・動作ログを出力する場合、「動作ログを出力する」にチェックをし、「動作ログディレクトリ名」、「ログ保存日数」を指定します。

デバッグログを出力する場合は、「デバッグログを出力する」にチェックをし、「デバッグログファイル名」を指定します。

設定を終了したら、「OK」もしくは「適用」をクリックします。

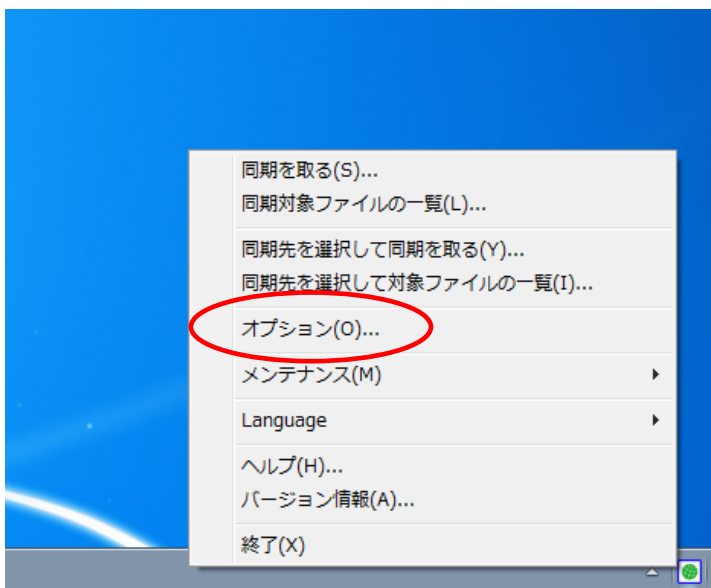


「その他」タブの「HTTPバージョン」、「認証オプション」については、初期値のまま変更する必要はありません。

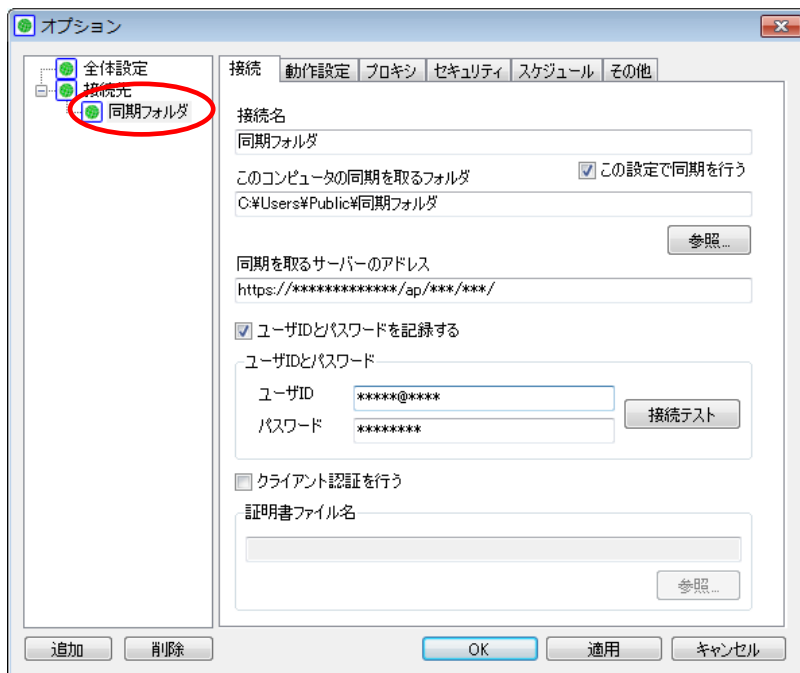
1.6 作成済みのフォルダ同期設定を変更したい

すでに作成済みのフォルダ同期の設定内容を変更することができます。

- ・ 「フォルダ同期ツール」 を起動して、ディスプレイの右下（タスクトレイ） に表示されるロゴの上で右クリックし、メニューから「オプション」 を選択します。



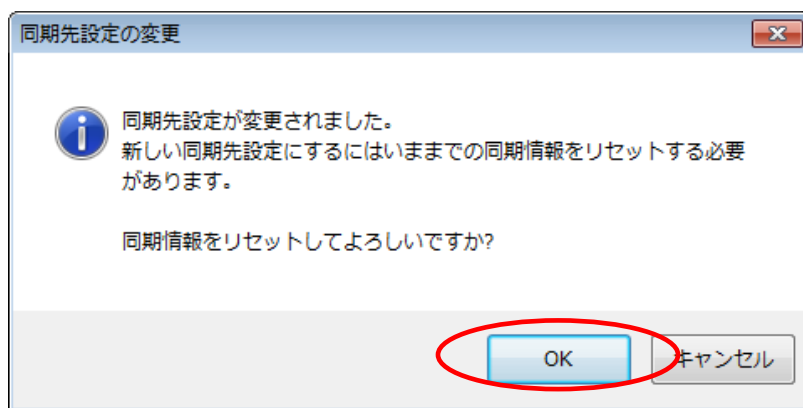
- ・ 設定を変更したい接続先を選択し、本マニュアル 1.1~1.5 に従って、変更したい項目を変更します。



- ・ 変更作業が終了したら、「OK」もしくは「適用」をクリックします。

※ 「このコンピュータの同期をとるフォルダ」、「同期をとるサーバーのアドレス」を変更した場合は、「OK」

もしくは「適用」をクリックすると以下の画面が表示されます。

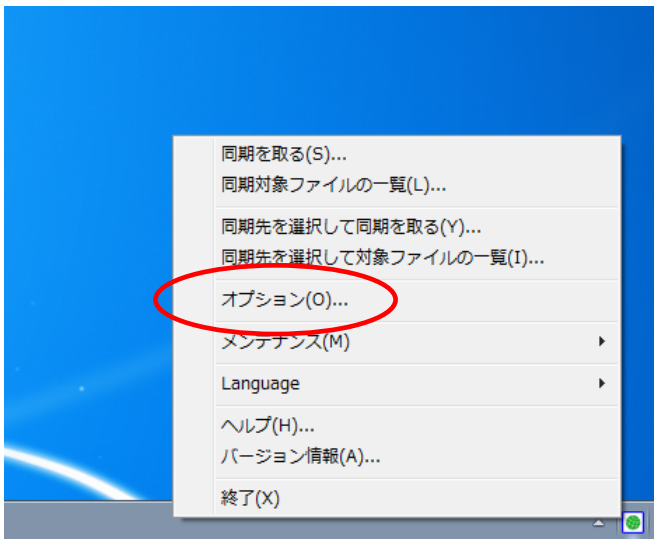


クラウドストレージ上、もしくはパソコン上の同期対象となるフォルダが変更されたため、これまで同期された情報をリセットする必要がありますので、「OK」をクリックすると変更処理が完了します。

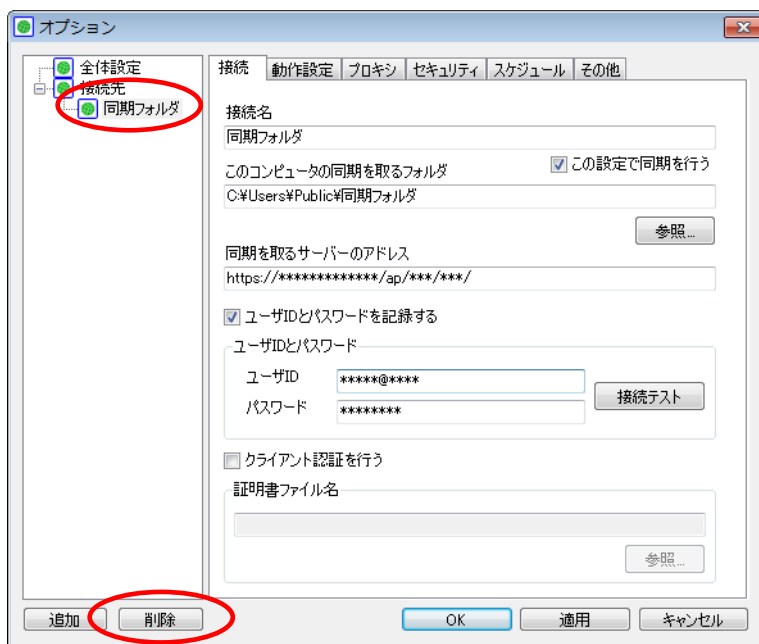
1.7 作成済みのフォルダ同期設定を削除したい

すでに作成済みのフォルダ同期の設定を削除することができます。

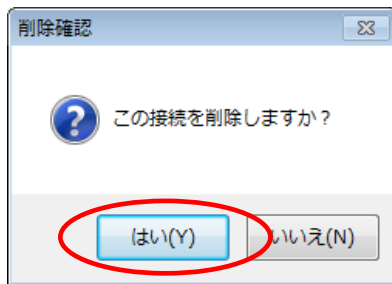
- ・ 「フォルダ同期ツール」 を起動して、ディスプレイの右下（タスクトレイ） に表示されるロゴの上で右クリックし、メニューから「オプション」 を選択します。



- ・ 削除したい接続先を選択し、左下の「削除」 をクリックします。



- ・確認画面が表示されますので、削除してよければ「はい」をクリックすると、削除処理が完了します。

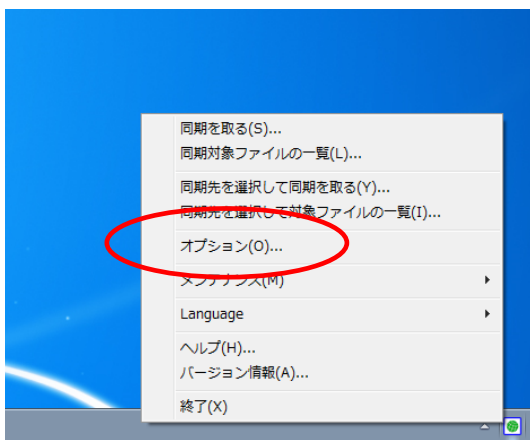


2 全体

2.1 回線切断時に自動で再接続させたい

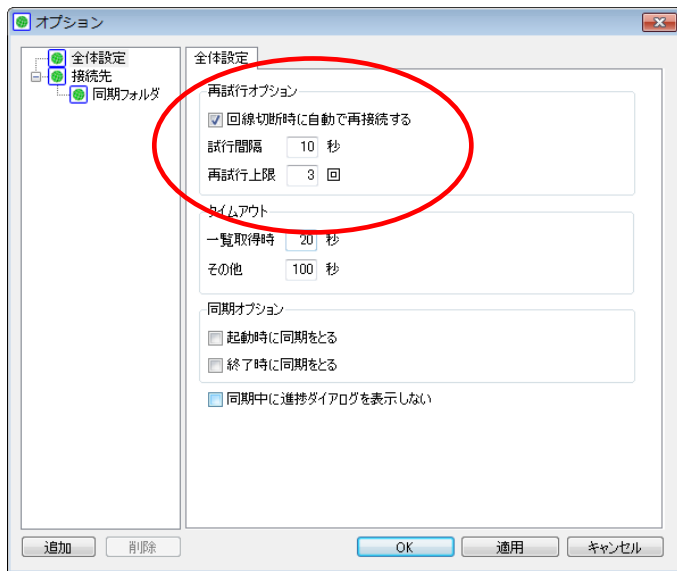
同期動作中に一時的にインターネット接続が切断された場合に、再接続設定をすることができます。

- ・ 「フォルダ同期ツール」を起動して、ディスプレイの右下（タスクトレイ）に表示されるロゴの上で右クリックし、メニューから「オプション」を選択します。



- ・ 「全体設定」画面の「再試行オプション」にある「回線切断時に自動で再接続する」にチェックし、「試行間隔」、「再試行上限」を指定します。設定を終了したら、「OK」もしくは「適用」をクリックします。

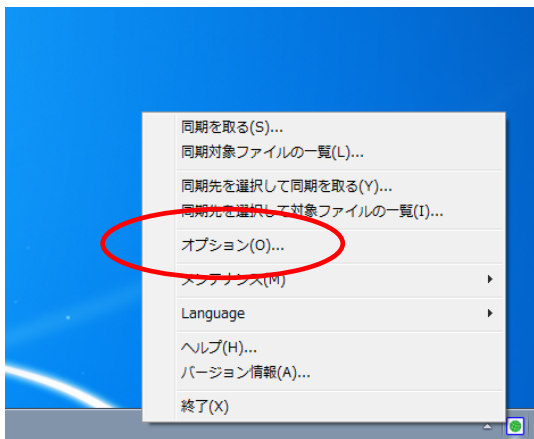
(初期値では、試行間隔 10 秒、再試行上限 3 回となっています。)



2.2 回線切断時のタイムアウト時間を設定したい

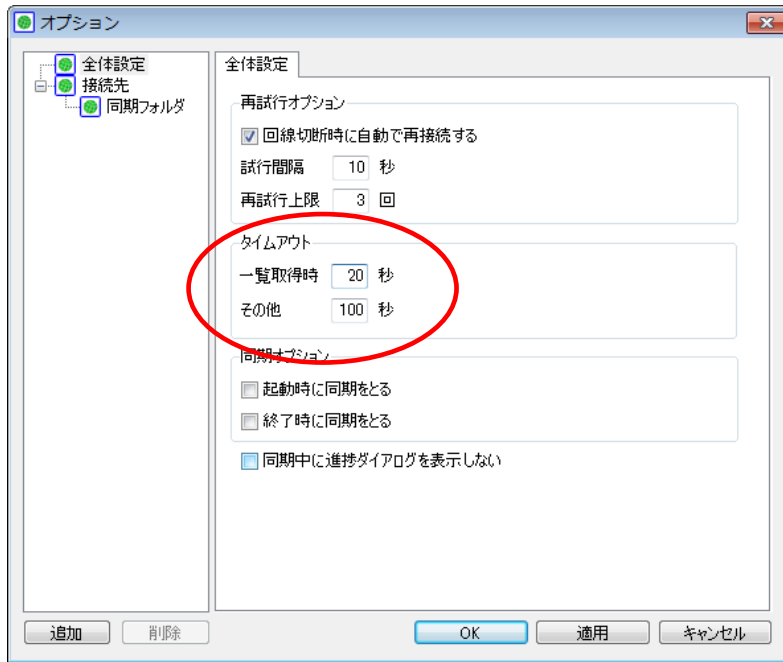
同期動作中に一定時間応答がない場合は処理を終了させることができます。

- ・ 「フォルダ同期ツール」 を起動して、ディスプレイの右下（タスクトレイ）に表示されるロゴの上で右クリックし、メニューから「オプション」を選択します。



- ・ 「全体設定」画面の「タイムアウト」にある「一覧取得時」、「その他」を指定します。設定を終了したら、「OK」もしくは「適用」をクリックします。

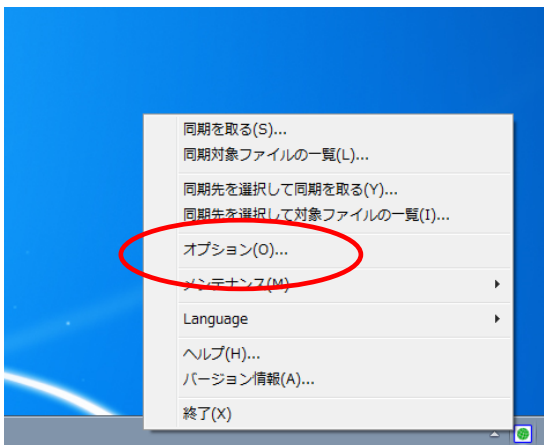
(初期値では、一覧取得時 20 秒、その他 100 秒となっています。)



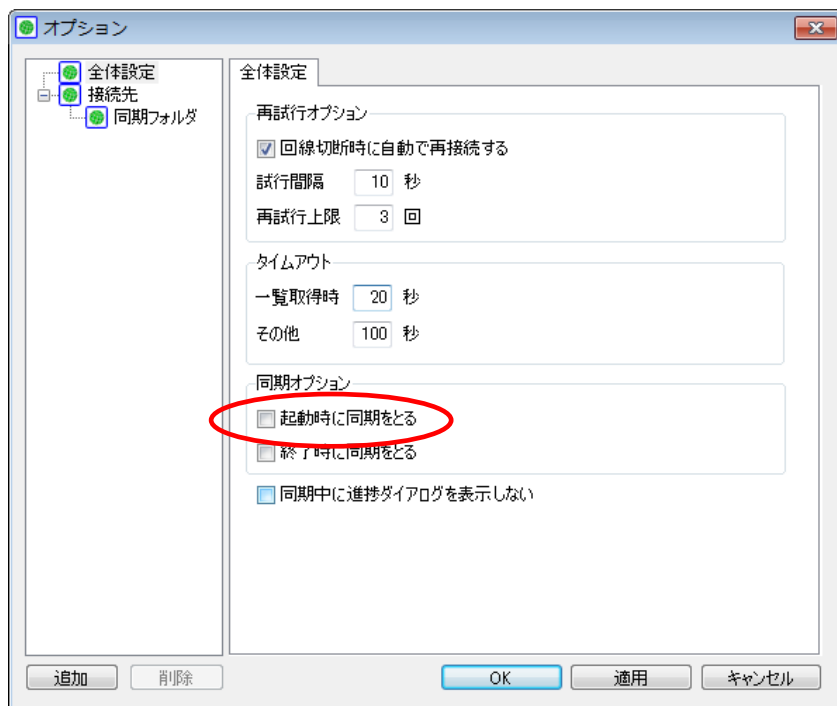
2.3 フォルダ同期ツールの起動時に自動で同期したい

フォルダ同期ツールの起動時に設定済みの同期動作を実行させることができます。

- ・ 「フォルダ同期ツール」を起動して、ディスプレイの右下（タスクトレイ）に表示されるロゴの上で右クリックし、メニューから「オプション」を選択します。



- ・ 「全体設定」画面の「同期オプション」にある「起動時に同期をとる」チェックボックスをチェックし、「OK」もしくは「適用」をクリックします。



- ・ 次回「フォルダ同期ツール」起動時から、設定済みのフォルダ同期設定が実行されます。



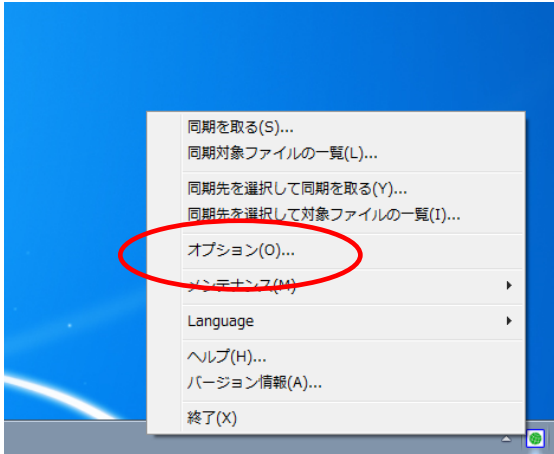
複数のフォルダ同期設定をしていた場合、フォルダ同期ツールを起動するとすべての同期設定が順に実行されますので、

ご注意ください。特定のフォルダ同期設定のみを実行することはできません。

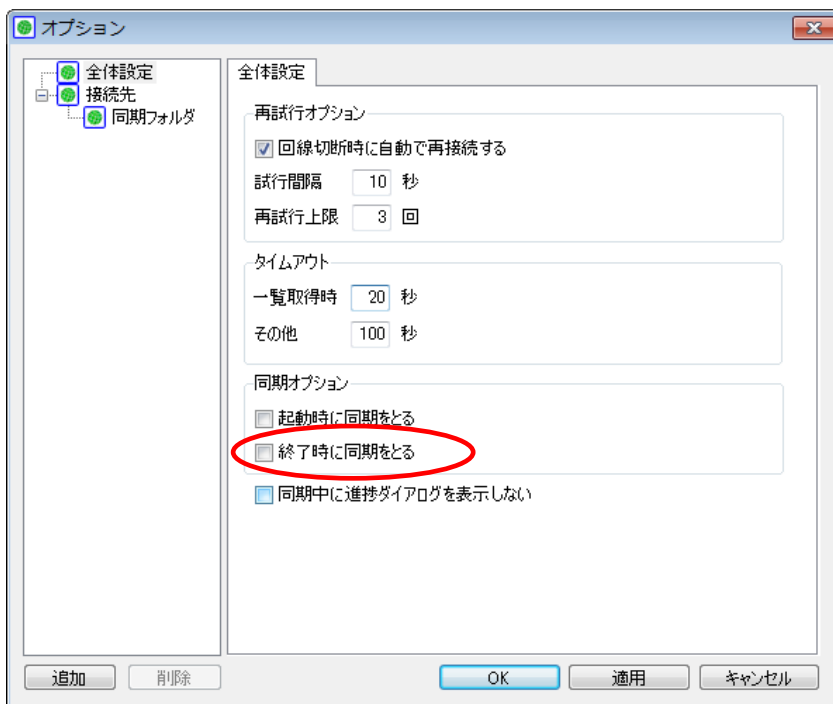
2.4 フォルダ同期ツールの終了時に自動で同期させたい

フォルダ同期ツールの終了時に設定済みの同期動作を実行させることができます。

- ・ 「フォルダ同期ツール」 を起動して、ディスプレイの右下（タスクトレイ）に表示されるロゴの上で右クリックし、メニューから「オプション」を選択します。



- ・ 「全体設定」画面の「同期オプション」にある「終了時に同期をとる」チェックボックスをチェックし、「OK」もしくは「適用」をクリックします。



- ・ 次回「フォルダ同期ツール」終了時から、設定済みの同期設定が実行されます。

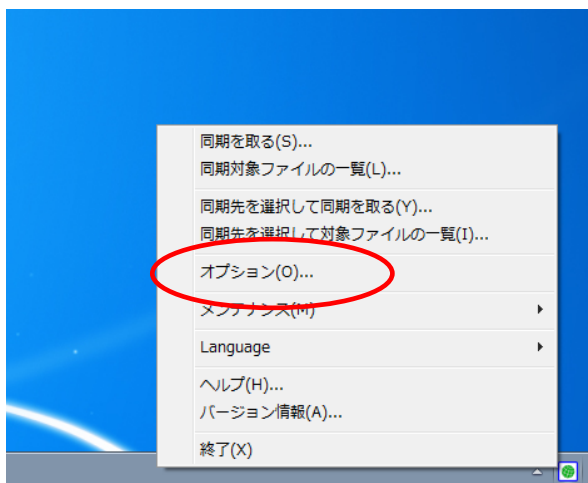


複数のフォルダ同期設定をしていた場合、フォルダ同期ツールを終了するとすべての同期設定が順に実行されますので、ご注意ください。特定のフォルダ同期設定のみを実行することはできません。

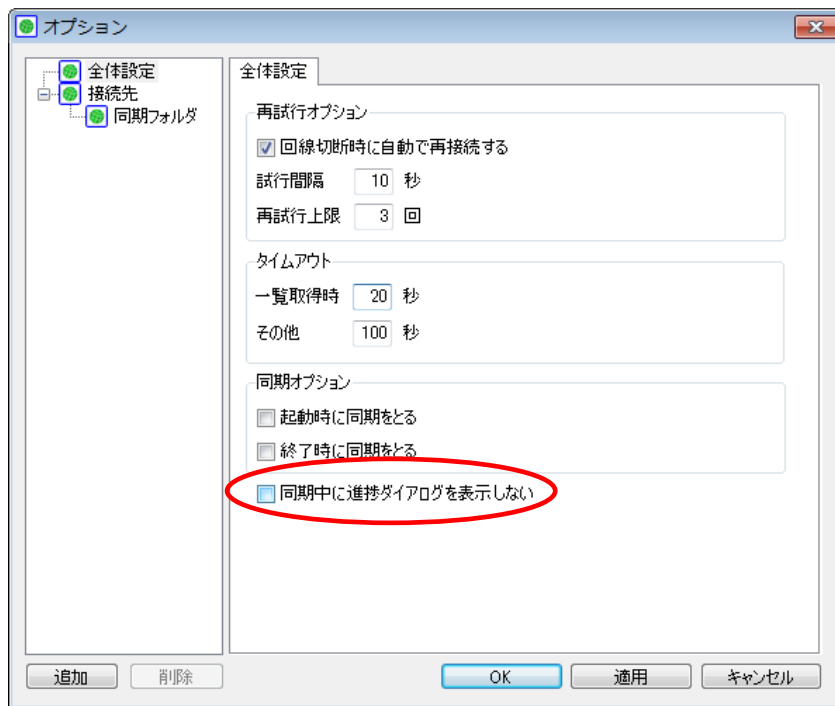
2.5 フォルダ同期中に表示される進捗ダイアログを非表示にしたい

フォルダ同期処理中に表示される進捗ダイアログを非表示にすることができます。

- ・ 「フォルダ同期ツール」 を起動して、ディスプレイの右下（タスクトレイ）に表示されるロゴの上で右クリックし、メニューから「オプション」を選択します。



- ・ 「全体設定」画面の「同期中に進捗ダイアログを表示しない」チェックボックスをチェックし、「OK」もしくは「適用」をクリックします。



- ・ 次回の同期処理実行時から進捗ダイアログが表示されなくなります。



フォルダ同期処理が開始した後に進捗ダイアログ画面上の「非表示」ボタンをクリックすることでも、進捗ダイアログを非表示にすることができます。

3 フォルダ同期の実行

3.1 設定済みのフォルダ同期設定をすべて実行したい


フォルダ同期ツールに設定されているすべての同期設定を実行させることができます。


- ・ 「フォルダ同期ツール」 を起動して、ディスプレイの右下（タスクトレイ） に表示されるロゴの上で右クリックし、メニューから「同期を取る」 を選択します。



- ・ フォルダ同期処理が開始されます。同期処理は設定画面の上から順に実施されます。



・フォルダ同期処理中は、タスクトレイに表示されるロゴがオレンジ  になります。

・フォルダ同期処理が終了すると、進捗ダイアログ閉じ、タスクトレイのロゴが緑  に戻ります。



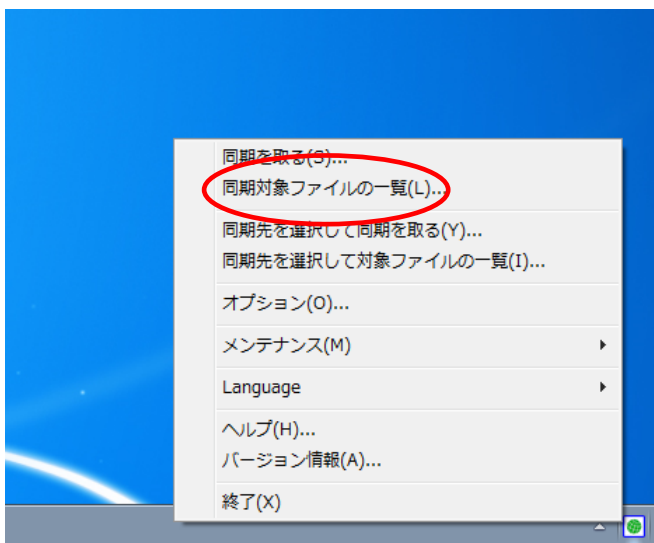
注意事項

- ・設定された内容に従い同期動作が実行されクラウドストレージ上/パソコン上のファイルが更新（上書き）、または削除された場合、更新（上書き）・削除される前の状態に戻すことはできませんので、同期設定を行う際は事前に想定した動きをするかどうかをご確認の上ご利用ください。
- ・また、クラウドストレージのグループフォルダなど、複数の利用者が参照・更新をする可能性のあるフォルダへ同期処理を行う場合は、事前に利用者へ同期内容について周知していただく等により、利用者の意図しない更新や削除が行われないようご注意ください。

3.2 フォルダ同期対象のファイル一覧をすべて確認したい

フォルダ同期ツールに設定されているすべてのフォルダ同期設定を実行した場合に、処理の対象となるファイルの一覧を表示させることができます。

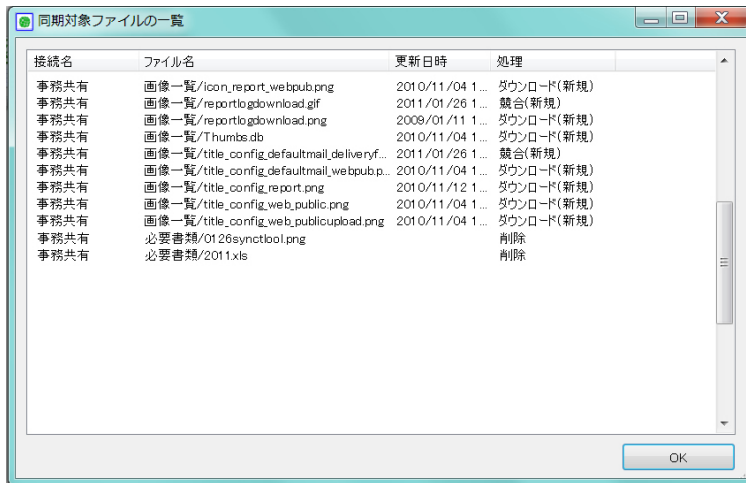
- ・ 「フォルダ同期ツール」 を起動して、ディスプレイの右下（タスクトレイ） に表示されるロゴの上で右クリックし、メニューから「同期対象ファイルの一覧」 を選択します。



- ・ 同期対象ファイルの一覧取得が開始されます。



- ・同期対象ファイルの一覧が表示されます。



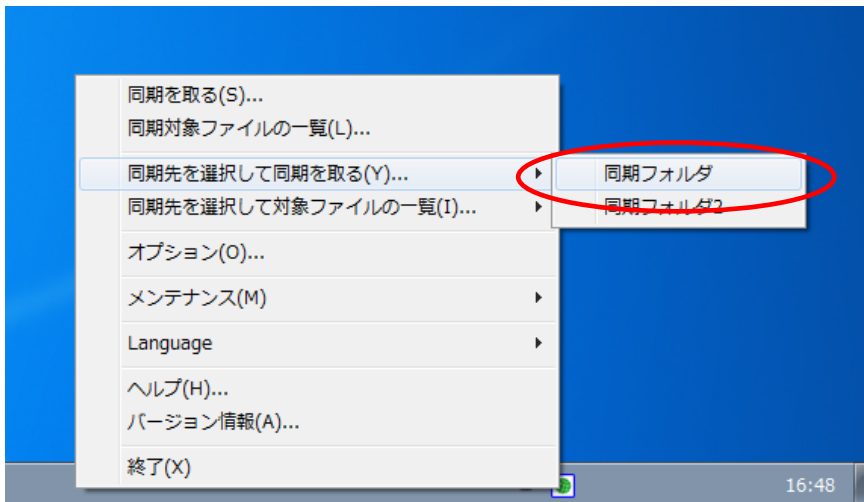
「同期対象ファイルの一覧」の「処理」列には、同期処理を実行した場合の処理内容が表示されます。

項目	説明
アップロード(新規) アップロード(更新)	パソコン上にあるファイルの方が新しいので、クラウドストレージへアップロード（上書き）します。
ダウンロード(新規) ダウンロード(更新)	クラウドストレージ上にあるファイルの方が新しいので、パソコンへダウンロード（上書き）します。
削除	パソコンまたはクラウドストレージのどちらか一方のファイルが削除されているため、削除するか、アップロード or ダウンロードすることでファイルを復活させるかで両方の状態を合わせます。
競合(新規) 競合(更新)	前回同期をとった後に、クラウドストレージとパソコンの両方にあるファイルがそれぞれ更新されているため、アップロード or ダウンロードすることで、どちらかのファイルに合わせます。

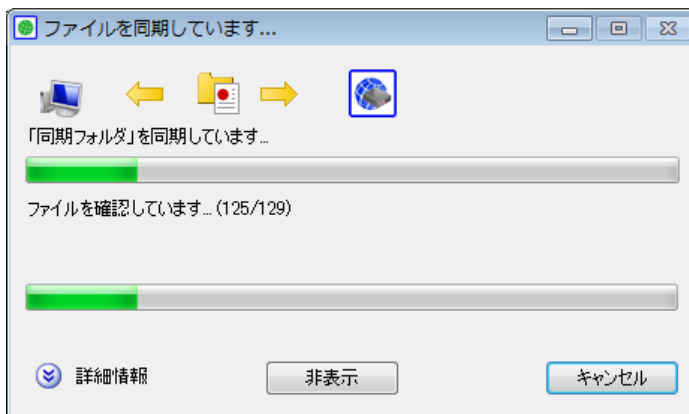
3.3 特定のフォルダ同期設定のみ実行したい


フォルダ同期ツールに設定されている特定の同期設定のみ実行させることができます。


- ・ 「フォルダ同期ツール」 を起動して、ディスプレイの右下（タスクトレイ）に表示されるロゴの上で右クリックし、メニューから「同期先を選択して同期を取る」を選択し、同期処理を実行したい設定を指定します。



- ・ フォルダ同期処理が開始されます。



- ・ フォルダ同期処理中は、タスクトレイに表示されるロゴがオレンジ  になります。

- ・ フォルダ同期処理が終了すると、進捗ダイアログ閉じ、タスクトレイのロゴが緑  に戻ります。



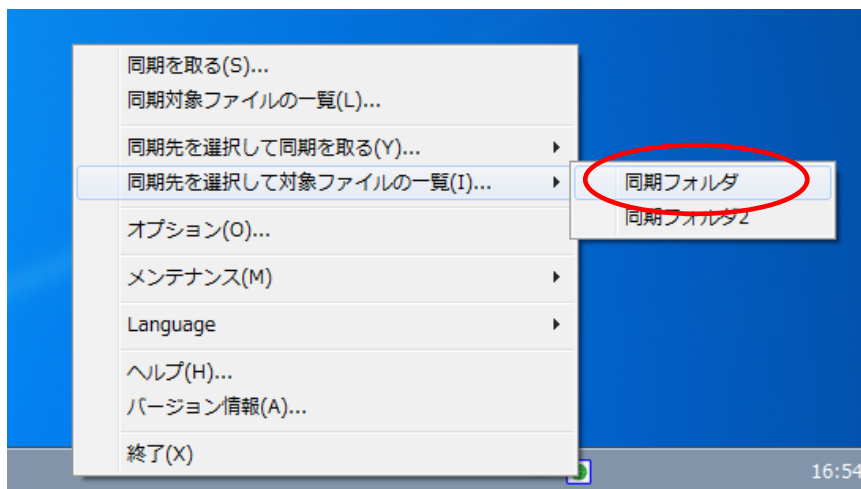
注意事項

- ・ 設定された内容に従い同期動作が実行されクラウドストレージ上/パソコン上のファイルが更新（上書き）、または削除された場合、更新（上書き）・削除される前の状態に戻すことはできませんので、同期設定を行う際は事前に想定した動きをするかどうかをご確認の上ご利用ください。
- ・ また、クラウドストレージのグループフォルダなど、複数の利用者が参照・更新をする可能性のあるフォルダへ同期処理を行う場合は、事前に利用者へ同期内容について周知していただく等により、利用者の意図しない更新や削除が行われないようご注意ください。

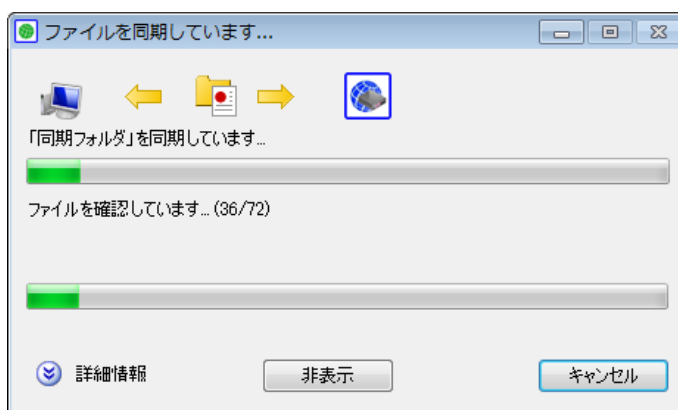
3.4 特定のフォルダ同期設定の同期対象ファイル一覧を確認したい

フォルダ同期ツールに設定されている特定の同期設定を実行した場合に、処理の対象となるファイルの一覧を表示させることができます。

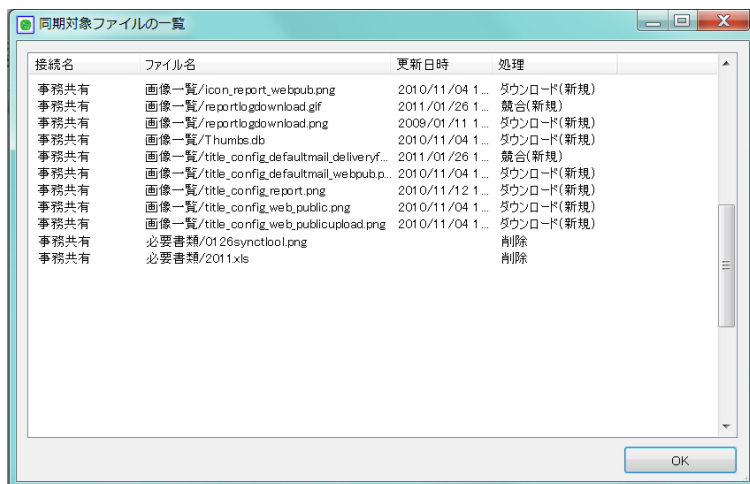
- ・ 「フォルダ同期ツール」 を起動して、ディスプレイの右下（タスクトレイ） に表示されるロゴの上で右クリックし、メニューから「同期先を選択して対象ファイルの一覧」を選択し、一覧を取得したい設定を指定します。



- ・ 同期対象ファイルの一覧取得が開始されます。



- ・同期対象ファイルの一覧が表示されます。



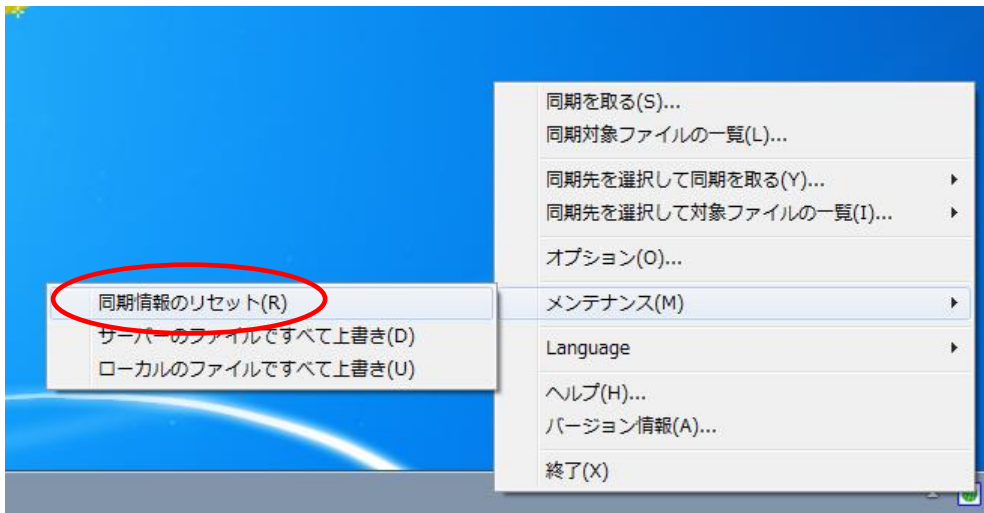
「同期対象ファイルの一覧」の「処理」列には、同期処理を実行した場合の処理内容が表示されます。

項目	説明
アップロード(新規) アップロード(更新)	パソコン上にあるファイルの方が新しいので、クラウドストレージへアップロード（上書き）します。
ダウンロード(新規) ダウンロード(更新)	クラウドストレージ上にあるファイルの方が新しいので、パソコンへダウンロード（上書き）します。
削除	パソコンまたはクラウドストレージのどちらか一方のファイルが削除されているため、削除するか、アップロード or ダウンロードすることでファイルを復活させるかで両方の状態を合わせます。
競合(新規) 競合(更新)	前回同期をとった後に、クラウドストレージとパソコンの両方にあるファイルがそれぞれ更新されているため、アップロード or ダウンロードすることで、どちらかのファイルに合わせます。

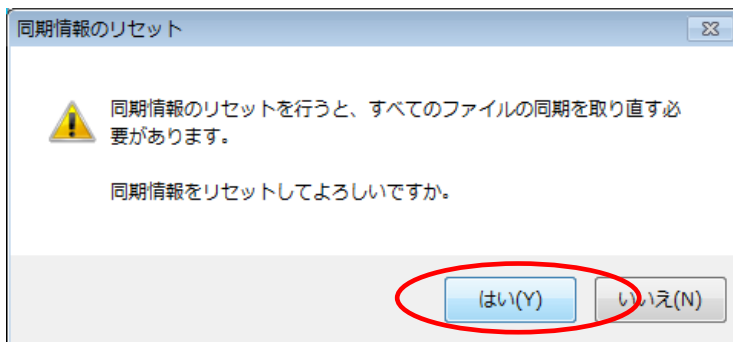
3.5 すべてのフォルダ同期情報をリセットしたい

これまでに実行したすべてのフォルダ同期情報をリセットすることができます。

- ・ 「フォルダ同期ツール」 を起動して、ディスプレイの右下（タスクトレイ） に表示されるロゴの上で右クリックし、メニューから「メンテナンス」 を選択し、「同期情報のリセット」 をクリックします。



- ・ すべてのファイルの同期情報をリセットしてもよければ、「はい」 をクリックします。

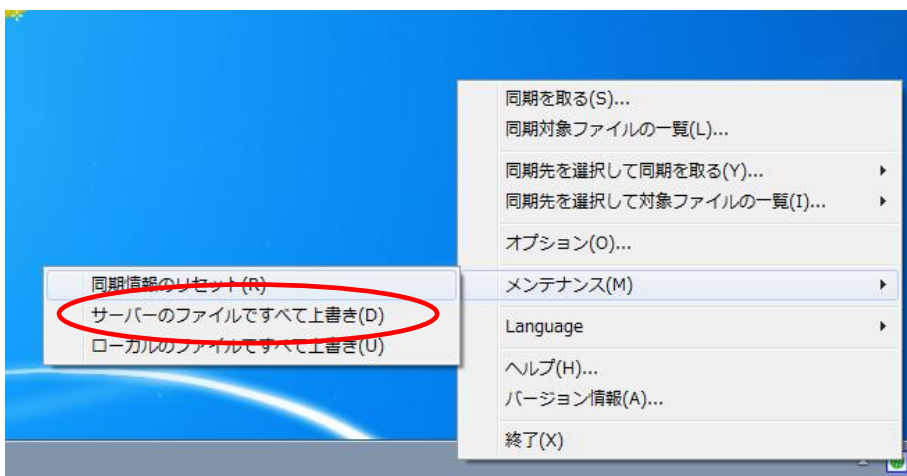


- ・ 同期情報をリセット後、フォルダ同期を実行すると、更新がないファイルも含めて、すべてのファイルの同期を行います。

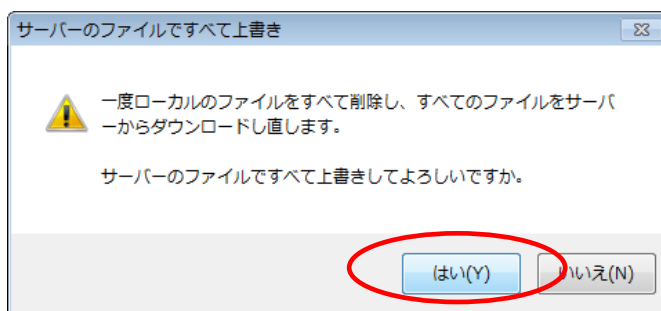
3.6 クラウドストレージ上のファイルでパソコン上のフォルダをすべて上書きしたい

すべてのフォルダ同期設定において、パソコン上の対象フォルダ内にあるファイルをすべて削除し、クラウドストレージ上の対象フォルダ内のファイルをすべてダウンロードすることができます。

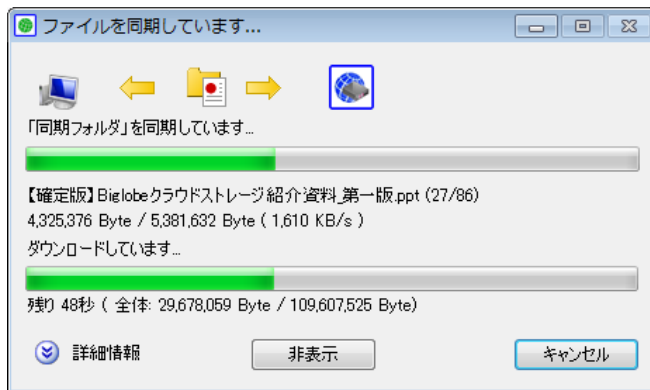
- ・ 「フォルダ同期ツール」 を起動して、ディスプレイの右下（タスクトレイ） に表示されるロゴの上で右クリックし、メニューから「メンテナンス」 を選択して「サーバーのファイルですべて上書き」 を指定します。





- ・ すべてクラウドストレージ上のファイルで上書きしてもよければ、「はい」 をクリックします。



- ・パソコン上の対象フォルダ内のファイルの削除とクラウドストレージ上のファイルのダウンロードが開始されます。



- ・フォルダ同期処理中は、タスクトレイに表示されるロゴがオレンジ  になります。

- ・フォルダ同期処理が終了すると、進捗ダイアログ閉じ、タスクトレイのロゴが緑  に戻ります。

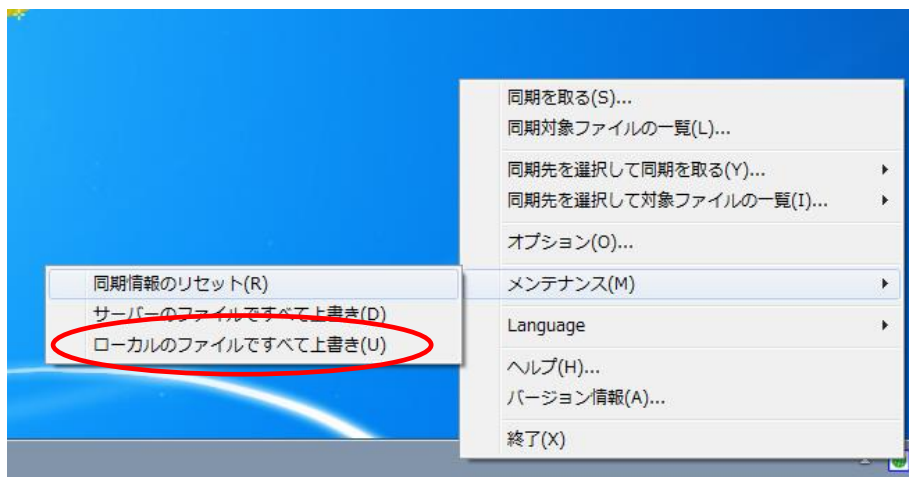
注意事項

- ・複数のフォルダ同期設定をしていた場合、すべての同期設定においてパソコン上の対象フォルダ内のファイル削除とクラウドストレージ上の対象フォルダ内のファイルダウンロードが順に実行されますので、ご注意ください。
特定のフォルダ同期設定のみを実行の対象とすることはできません。
- ・パソコン上のファイルが削除された場合、削除される前の状態に戻すことはできませんので、「サーバーのファイルすべて上書き」を実行する際は事前に想定した動きをするかどうかをご確認の上ご利用ください。

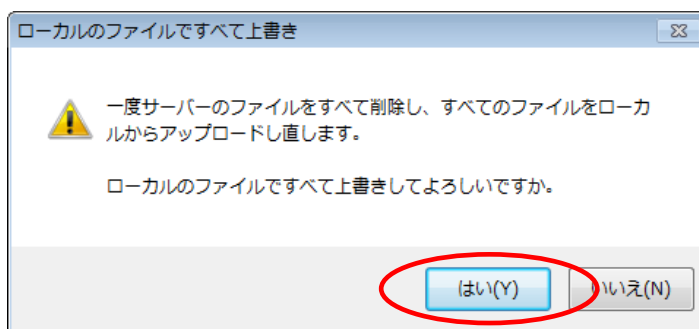
3.7 パソコン上のファイルでクラウドストレージをすべて上書きしたい

すべてのフォルダ同期設定においてクラウドストレージ上の対象フォルダ内にあるファイルをすべて削除し、パソコン上の対象フォルダ内のファイルをすべてアップロードすることができます。

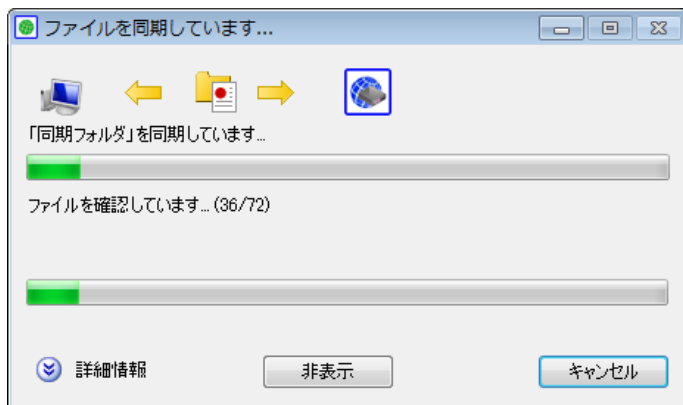
- ・ 「フォルダ同期ツール」 を起動して、ディスプレイの右下（タスクトレイ） に表示されるロゴの上で右クリックし、メニューから「メンテナンス」 を選択して「ローカルのファイルですべて上書き」 を指定します。




- ・ すべてパソコン上のファイルで上書きしてもよければ、「はい」 をクリックします。



- ・クラウドストレージ上の対象フォルダ内のファイルの削除とパソコン上のファイルのアップロードが開始されます。



- ・フォルダ同期処理中は、タスクトレイに表示されるロゴがオレンジ  になります。

- ・フォルダ同期処理が終了すると、進捗ダイアログ閉じ、タスクトレイのロゴが緑  に戻ります。

注意事項

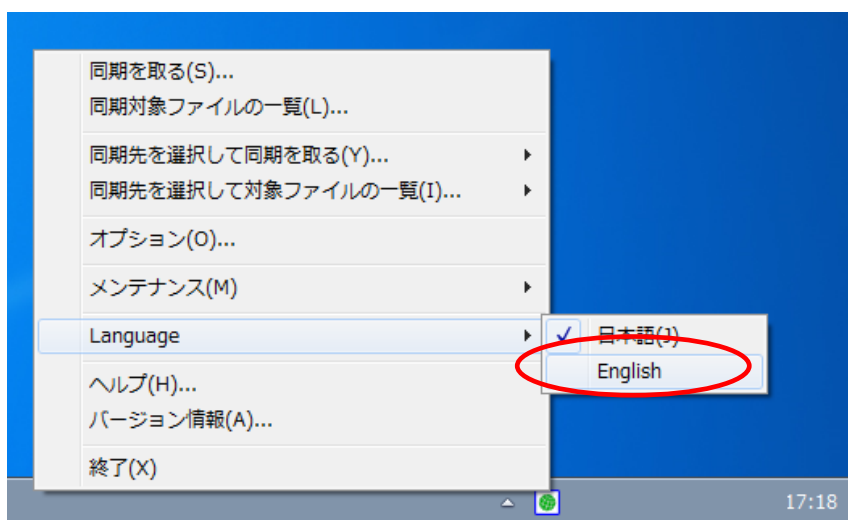
- ・複数のフォルダ同期設定をしていた場合、すべての同期設定においてクラウドストレージ上の対象フォルダ内のファイル削除とパソコン上の対象フォルダ内のファイルアップロードが順に実行されますので、ご注意ください。特定のフォルダ同期設定のみを実行の対象とすることはできません。
- ・クラウドストレージ上のファイルが削除された場合、削除される前の状態に戻すことはできませんので、「ローカルのファイルですべて上書き」を実行する際は事前に想定した動きをするかどうかをご確認の上ご利用ください。

4 その他

4.1 表示言語（英語・日本語）を変更したい

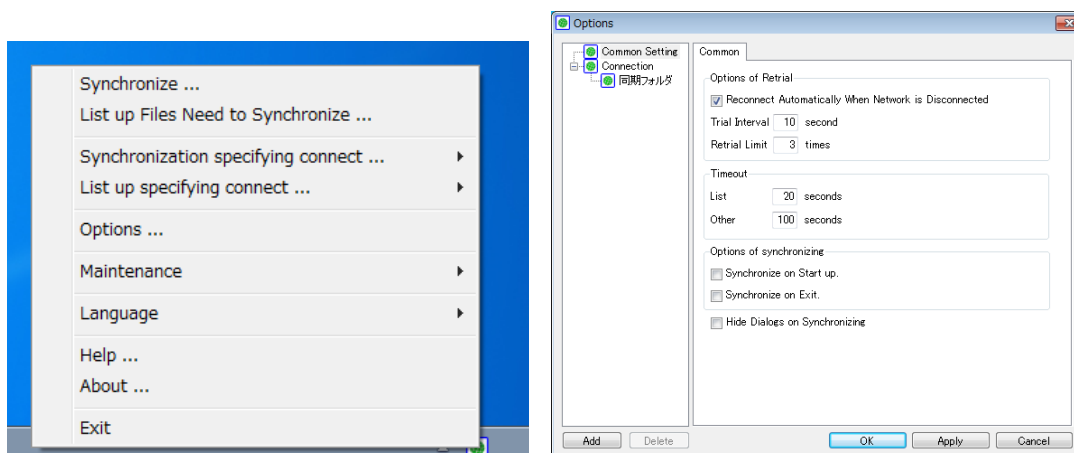
フォルダ同期ツールの表示言語を日本語（初期値）から英語に変更することができます。

- ・ 「フォルダ同期ツール」を起動して、ディスプレイの右下（タスクトレイ）に表示されるロゴの上で右クリックし、メニューの「Language」から「English」を選択します。



- ・ 次に「フォルダ同期ツール」のメニューを表示させると、英語表記に変更されています。

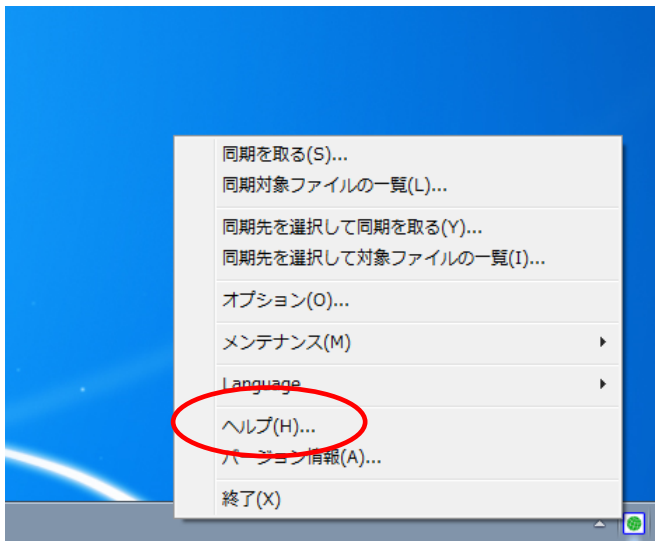
（ヘルプは日本語表記のみです）



4.2 ヘルプを表示させたい

フォルダ同期ツールの使い方に迷った時や機能について知りたいときに、ヘルプを表示させることができます。

- ・「フォルダ同期ツール」を起動して、ディスプレイの右下（タスクトレイ）に表示されるロゴの上で右クリックし、メニューの「ヘルプ」を選択します。



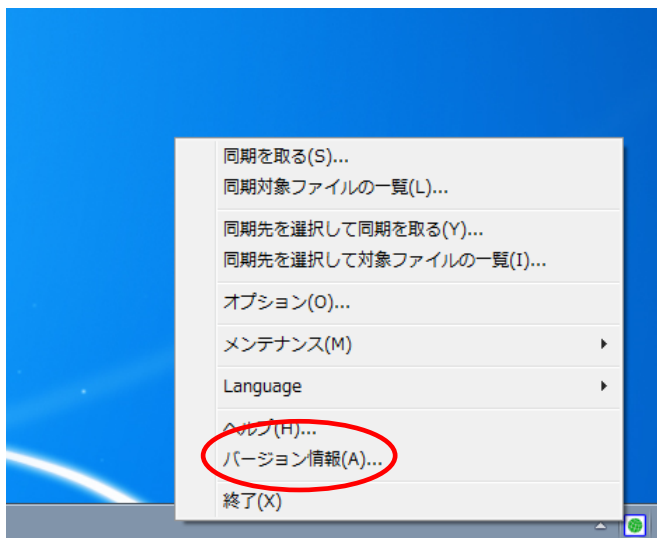
- ・「フォルダ同期ツール」のヘルプが表示されます。



4.3 バージョン情報を確認したい

フォルダ同期ツールのバージョン情報を確認することができます。

- ・ 「フォルダ同期ツール」 を起動して、ディスプレイの右下（タスクトレイ）に表示されるロゴの上で右クリックし、メニューの「バージョン情報」を選択します。



- ・ 「フォルダ同期ツール」 のバージョン情報が表示されます。



以上

発行元：ビッグローブ株式会社

- ・ 本書の内容の一部または全部を無断転載・複製・改変することを禁じます。
- ・ 本サービスの仕様、および本書に記載している内容は、2025年7月時点の情報を元に作成しています。今後、予告なしに変更されることがございますので、あらかじめご了承ください。
- ・ 本書に記載されている会社名、商標名等は、各会社の商号、商標または商標登録です。

(C)BIGLOBE Inc. 2025